



Web Fairy Paradise

改訂：2016/4/24

第94号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第 81 回 WFP フェアリー作品展 (再掲)
- ・ 第 82 回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第 100 回 推理将棋出題
- ・ 第 101 回 推理将棋出題 (改訂時)
- ・ Fairy of the Forest#47
- ・ 強欲な世界パート7

結果発表

- ・ 第 80 回 WFP フェアリー作品展
- ・ 第 99 回 推理将棋出題
- ・ 強欲な世界パート6
- ・ フェアリー版くるくる作品展6

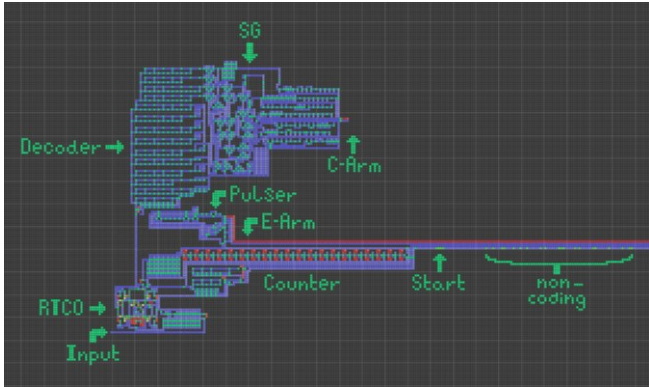
読み物

- ・ Fairy TopIX2015 投票要項



2016/4

第81回WFP作品展(再掲)及び 第82回WFP作品展 担当：神無七郎



そろそろ Fairy Top IX の季節…ということで筆者は昨年の WFP を読み返しています。そこで目についたのが、長編で受賞した **soga** 氏のコメントでした。曰く「コンピュータが作ったのだから、次は人工生命っぽいものが作れないだろうか」。これはとても自然な発想なのですが、計算機と生命がどう繋がるのかピンと来ない人もいます。そこで今回は「計算」と「生命」、そして「詰将棋」の繋がりについて考えたいと思います。

生物の重要な特徴は「自己複製」ですが、自己複製にはどんな仕組みが必要か、1940年頃から数学的な研究が始まりました。そして、この分野で大きな業績を上げたのが、有名なジョン・フォン・ノイマンです。その結論をかいつまんで言えば「万能組立機」と「万能計算機」が合体すれば自己複製が可能という事になります。ただし、ここでいう「万能」は自己複製とそれに必要な計算ができる程度に万能という意味で、何でもできる「全能」ではありません。

ノイマンは現実世界で人工生命を作ったわけではなく、巨大な格子状の盤を用意し、そこにルールを設定して、自己複製できる初期配置を示しました。冒頭の図がその配置です。

この図の各マスは小さ過ぎて見えませんが、10マスごとに薄い罫線が引かれているので、大体の大きさや形は分かると思います。また、図で見えているのは万能組立機兼万能計算機（以下、単に組立機と呼ぶ）の本体部分で、これに与える設計図兼組立手順書、つまり生物の DNA に相当する部分は図の右側にはみだしています。その長さは約 1500 万マス分。人間の DNA の約 30 億塩基対に比べると少ないですが、それでもかなりの長さです。複製のためだけにしては大袈裟な仕組みに思えますが、こうして設計図や組立手順書を独立させることで、自己複製に直

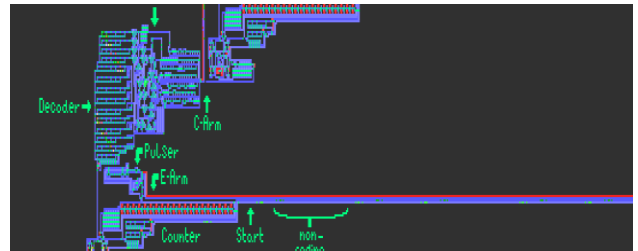
接関係ない「オマケ」の追加が容易になり、それが生物の多様性を生み出します。

ノイマンは方眼紙と自分の頭を使ってこれが自己複製を行うことを証明したのですが、その論文を読むのは大変なので、代わりにコンピュータ上で自己複製の過程を観察しましょう。

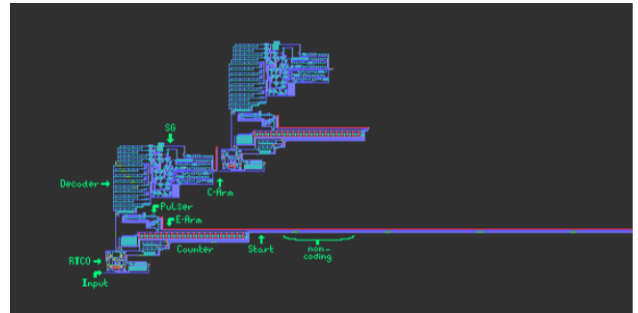
(これには **Golly** というソフトを使いました。)

組立機はまず「E-Arm」に沿って DNA 上の情報を読み取り、「Decoder」で解読。解読した命令に従って「C-Arm」から足場を伸ばし、順に部品を置いて、組立機を組み立てます。

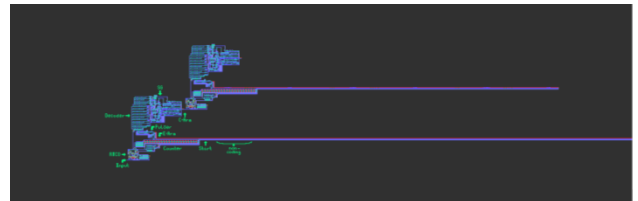
そして約 70 万手後の姿が下の図。「Counter」の組み立てが終わっていますね。



更に複製は進み、約 180 万手経過すると組立機本体の複製が終わり、足場も撤去されます。



後は延々 DNA の複製作業を行います。



そして約 2 億 7 千万手で DNA を含めた全ての複製が完了。後はこの繰り返しです。いや、長かった。パチパチパチパチ… (思わず拍手)

ノイマンの仮想生物は、私たちが普段目にする生物に比べると単純（増殖するだけ）で機械的に思えますが、本質的にはこれが行う作業と同様の営みが地球の至る所で延々と続けられています。人間に限っても約 60 兆の細胞があり、その人間が約 70 億、人間以外の生物も大量に存在し、何十億年も昔から自己複製を続けている……あまりの規模と時間に目眩を感じます。

さて、このノイマンの仮想生物を巨大盤詰将

棋で再現できるか、少し考えてみましょう。詰将棋コンピュータが実現可能であることが示されたので、コンピュータ内に仮想生物を作るという方法もありますが、できれば盤上で目に見える自己複製を表現したいですね。soga 氏の受賞コメントもそういう意味でしょう。

ノイマンの盤では各マスがとりうる状態の数は 29。将棋の場合、駒の種類が 13 で、先手後手の区別があり、空きマス状態も含めると、状態の数が 27。数だけならほぼ同じです。

また、ノイマンの盤では各マスが次の 1 手での状態に変化するかは、上下左右のマス状態によって決まり、その変化は同時多発的です。1 手毎に局所的にしか変化が起こらない詰将棋では、同等の機能を実現するのは難しく、実現できても相当の手数が掛かりそうです。

最大の難関は「組立機」の各部品を作る素材の選定です。「組立機」は「組立機」を作る必要があるため、その素材には単純さと高い柔軟性が求められます。現実の生物では種々の蛋白質がこの素材の役割を果たしたわけですが、どんなルールなら自己複製に都合の良い素材が得られるのでしょうか？ あまりに都合の良いルールを与えてしまうと、もはや詰将棋と呼べなくなるので、その辺りの塩梅も難しそうです。

20 世紀は計算が生命に不可欠な要素であることが発見された時代です。IT 技術の発展に伴って、生命科学の分野で画期的な成果が続々と登場するようになったのは偶然ではありません。最近では「DNA プログラミング言語」が考案され、細菌に人間の意図した作業をさせる研究も進んでいます。いつの日か将棋を指す大腸菌が作られないとも限りません。そんな時代に生きる 21 世紀の詰将棋作家にとって、盤上の人工生命は最も挑戦しがいのあるテーマの一つだと私は思います。

さて、今回の WFP 作品展は第 81 回分の再掲と第 82 回分の新規出題です。第 82 回分は出題数が 7 題とやや少なめ。担当の作を出すことも考えましたが、第 81 回分の問題数が多いのと、6 月に「第 44 回神無一族の氾濫」があることを考慮に入れて自重しました。解答者の皆さんにとっては全題正解のまたとないチャンスだと思います。

〔第 81 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 81 回の出題は全部で 14 題。内訳は神無太郎氏 1 題、占魚亭氏 3 題、上谷直希氏 3 題、変寝夢氏 7 題の計 14 題です。問題数が多いので解図への着手はお早めに。

81-1 は前々回、前回に引続き神無太郎氏の協力自玉スタイルメイトです。今回使われている駒は Bishop-Grasshopper。これは Grasshopper の利きを斜めのみで制限したもので、漢字は「僧」を割り当てています。「僧」は Bishop を漢字表記するときに使われる文字ですが、将棋には「角」という Bishop と同じ働きをする駒があるので、流用させて貰いました。

81-2～**81-4** は占魚亭氏による Imitator を使った作品です。**81-4** では中立駒を使っていますが、Imitator は中立駒に対しても普通の駒と同様に振る舞います。中立駒の香は 29 にいますが、中立駒は「行き所のない駒」にならないので非合法的な配置ではありません。また、**81-4** では受方持駒制限にも注意してください。

81-5～**81-7** は上谷直希氏の作品。Isardam 2 題と禁欲 1 題です。Isardam は短手数ですが、どちらも手ごわいと思います。特に **81-6** は腰を据えて取り組んでください。**81-7** の禁欲最善詰の方は流れで解けるので、今回の作品展の中では比較的手を付けやすい作品です。また、収束に軽微な非限定があります。普通詰将棋では全く問題にされないレベルですが、本作品展では軽微なキズでも存在を明示して出題します。

81-8～**81-14** は変寝夢氏の作品。うち 5 題は WFP92 号に紹介記事が載った「リパブリカン」の作品です。リパブリカン (Republican) は直訳すると「共和制」ですが、ここでは君主制の対義語、つまり「王がない」の意味です。その名の通り、最終手まで玉は盤上に存在せず、準備万端整った所で玉を出現させて詰みの局面を作ります。従って、単玉のリパブリカンである **81-8** は実質的には「王手義務なし」の協力詰となります。また、**81-9**～**81-12** は協力自玉詰ですが、今度は攻方の玉が存在しません。受方に玉を王手を掛けつつ準備を整えてから最後に攻方の玉を発生させて詰ませるわけです。もちろん、受方の玉は最初から最後まで盤上に存在するので、攻方王手義務は守ってください。誤解してはいけないのは、リパブリカンの玉は「盤のどこかに隠れているけど見えない」ではなく「本当に盤上にいない」ということです。従って、盤上のどこかに玉がいることを前提とした

着手の合法・非合法については考慮する必要はありません。

なお、**81-12** は「打歩」の条件が付いているので最後は必ず打歩で詰ませてください。いわゆる「法則問題」ではありませんが、リパブリカンですから、その点はひねりがあります。

リパブリカン以外の2作は比較的易しい作品が2つ。**81-13** はレトロの基本手筋問題、**81-14** は中立駒の活用が主題になっています。今までの変寝夢氏の作品群を解いてきた方ならきつとこの2題も解けると思います。

【第82回作品展各題への補足説明】

第82回の出題は全7題。内訳は神無太郎氏1題、変寝夢氏6題です。問題数が少なく、手数も短く、(担当の主観では) 難度も高くありません。以下のルール説明や過去問を参考に、全題正解を目指してください。

82-1 は神無太郎氏の作品。初形で飛による王手が掛かっているように見えますが、ルールは **Isardam**。自玉に飛の紐が付いているので王手ではありません。初手が一つしかないので考えやすいと思います。

82-2 から **82-7** は変寝夢氏による様々なルールの作品群。ルール説明をよくお読みください。

82-2 は **Dolphin** という駒を使った作品です。これは **Queen** の利きの方向に1つ駒を飛び越す **Grasshopper** と、**Queen** の利きの方向に2つ駒を飛び越す **Kangaroo** の性能を合わせた駒で、1枚でも2枚でも飛び越す越すことができます。3枚以上は飛び越せないの注意してください。

82-3 は打歩ルールですが、受方持駒に歩がありません。攻方の歩も玉からはるか遠くにあります。普通なら絶望的な状況ですが、中立駒をうまく使って打歩詰を達成してください。

82-4 及び **82-5** は指定手数逆算して1手詰を求める「レトロ」の問題。共に攻方王手義務がある前提です。ただし、**82-4** は受方の持駒は標準駒の残りすべて。**82-5** は **Grasshopper** のみの指定になっています。

82-6 は前回初登場したばかりの「リパブリカン」の作品。玉をどこに発生させるか考えれば易しいと思います。

82-7 は第75回以来の登場となるボカスカールの作品。駒が一斉に動くので、局面の変化が激しいのが特徴ですが、本局は受方持駒制限のおかげでかなり解き易いと思います。

解答要項

第81回分解答締切: 2016年5月15日(日)

第82回分解答締切: 2016年6月15日(水)

宛先: janacek789@ybb.ne.jp (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。(原則として毎月15日の投稿まで当月号に掲載します。) 宛先は解答と同じ janacek789@ybb.ne.jp へ。メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

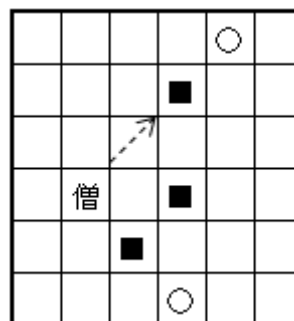
ルール説明

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト(王手は掛かっていないが合法手のない状態)にする。

【Bishop-Grasshopper】(僧)

Grasshopper の動きを斜線上に制限したもの。斜め方向にある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(■は何らかの駒。
○が僧の利き)

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この **Imitator** が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

【中立駒】(「」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。
横向きの字か横に **n** を付加して表記。

(補足)

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる

- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行く。→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」参照。

【Isardam】

同種の敵駒の利きに入る手を禁止する。玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない。(タイプA)
成駒と生駒は別種の駒として区別する

【最善詰】

攻方は受方なるべく早く詰むよう王手を掛け、受方はなるべく詰まないよう応じる。

【禁欲】

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。

(補足)

- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

→詳しいルール説明や例題は WFP92 号「リパブリカン詰の紹介」を参照のこと。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【打歩】

打歩詰以外の詰手を失敗とする。(単純打歩)

【レトロ -m+n 手】

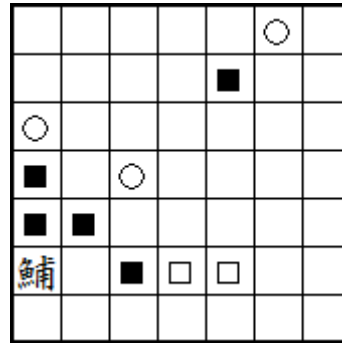
m 手逆算して n 手で詰む手順を求める。

(補足)

- 1) 特に注釈のない場合、逆算も攻方王手義務があることを前提とする
- 2) 協力系の場合逆算も双方が協力する

【Dolphin】(鮪)

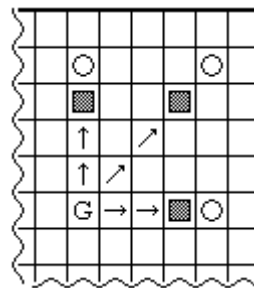
Grasshopper と Kangaroo の動きを併せ持つ駒。クィーンの線上にある駒を1つ、または2つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(■は敵または味方の駒。○が鮪の利き。□が共に敵駒ならどちらを取れる。)

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。



(○がGの利き)

【ボカスカ】

盤上にある味方の同じ種類の駒は、すべて同時に同一方向に動かす。

(補足)

- ・成駒と生駒は別種とみなす
- ・動かさない駒があれば動かせるだけ動かす。
- ・成・不成は1枚毎に自由。持駒も同じ種類の駒はすべて同時に打つ。
- ・歩だけは例外で打つのも動くのも単独。
- ・棋譜の書き方は、右上銀、下2飛(飛を2つ引く)等と書くことにする。成りを指定するときは、上3香(23,33)成、等と書く。(これはすべての香車が3マス走って23と33に来た2枚だけが成った、の意味) 打つときは、(23,33,24,34)桂、のように書く。1枚だけ動く、または打つときは、一般的な記法(32金など)で書く。

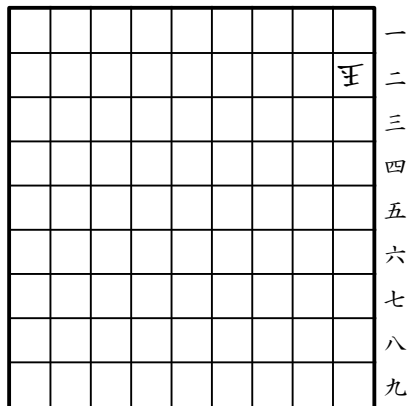
《第 81 回 WFP 作品展》（再掲）

解答締切：2016 年 5 月 15 日（日）

■ 81-1 神無太郎氏作

協力自玉スタイルメイト 10手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 角僧4

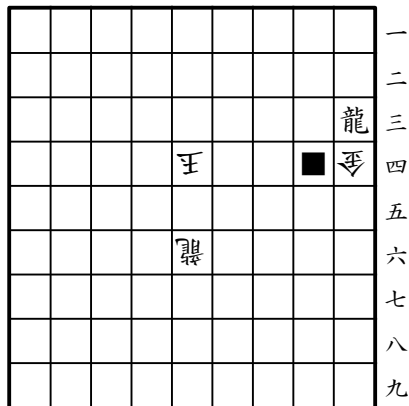
受方持駒 残り全て+僧5

※僧:Bishop-Grasshopper

■ 81-2 占魚亭氏作

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



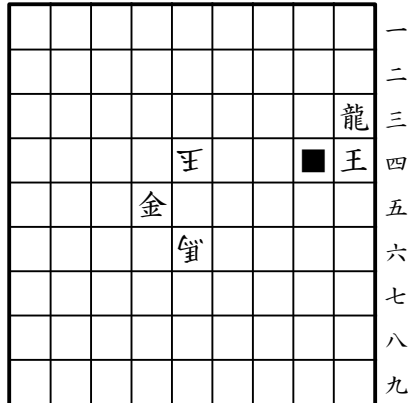
持駒 金

※■:Imitator

■ 81-3 占魚亭氏作

協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



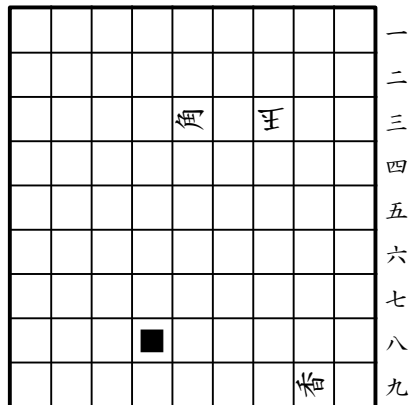
持駒 なし

※■:Imitator

■ 81-4 占魚亭氏作

協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒 なし

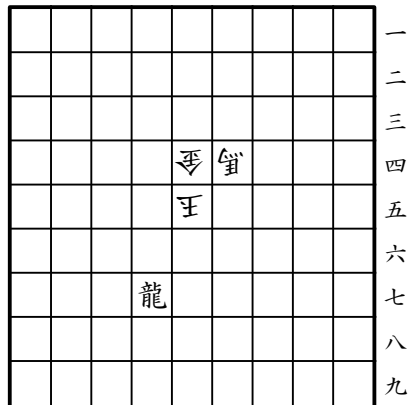
受方持駒 なし

※■:Imitator、53角29香は中立駒

■ 81-5 上谷直希氏作

Isardam協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

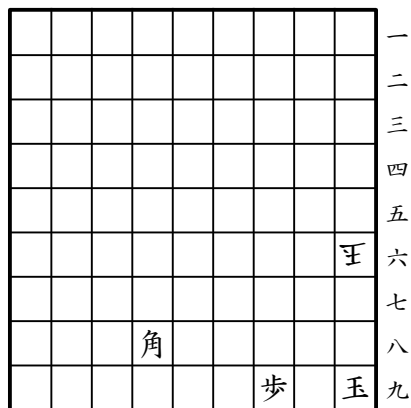


持駒 角 桂

■ 81-6 上谷直希氏作

Isardam協力自玉スタイルメイト 10手

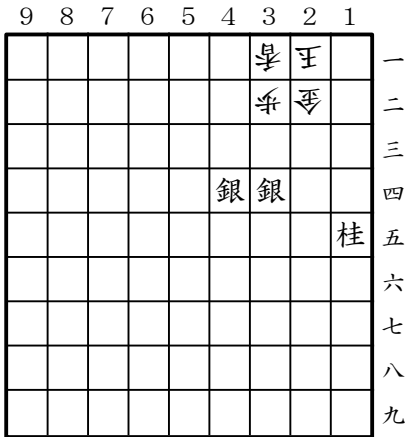
9 8 7 6 5 4 3 2 1



持駒 飛 金 香

■ 81-7 上谷直希氏作

禁欲最善詰 21手

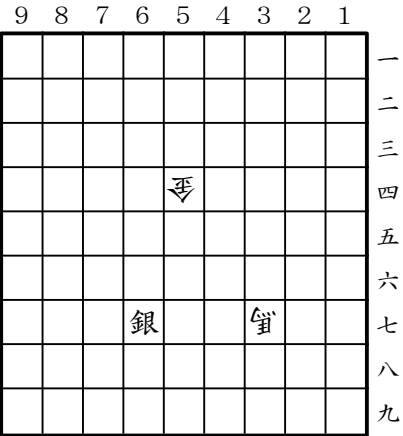


持駒 角 香 歩2

※20手目から非限定あり

■ 81-8 変寝夢氏作

リパブリカン協力詰 5手

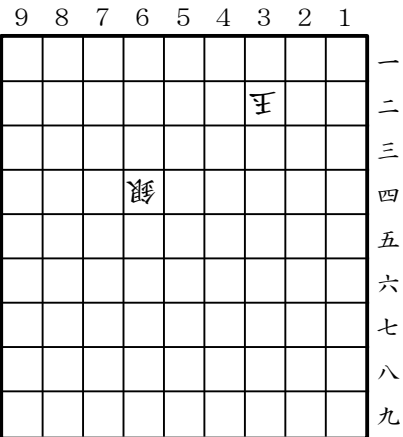


攻方持駒 なし

受方持駒 なし

■ 81-9 変寝夢氏作

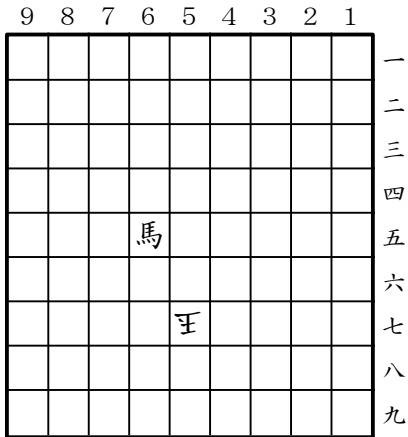
リパブリカン協力自玉詰 4手



持駒 角

■ 81-10 変寝夢氏作

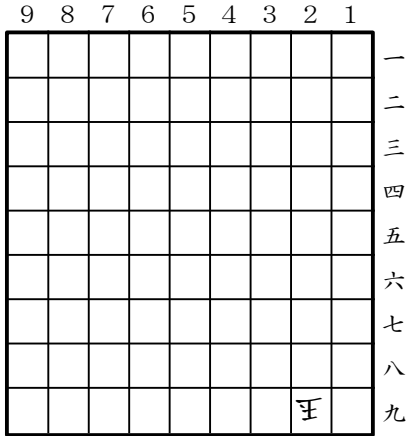
リパブリカン協力自玉詰 4手



持駒 飛2

■ 81-11 変寝夢氏作

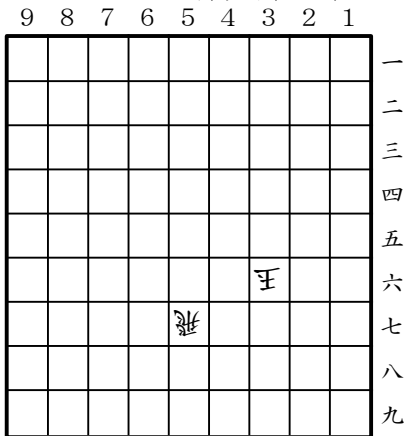
リパブリカン協力自玉詰 4手



持駒 飛 銀

■ 81-12 変寝夢氏作

リパブリカン打歩協力自玉詰 4手



持駒 桂 香

■ 81-13 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -2+1手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

			皇						
						王			
						将			
			香						

持駒 金

■ 81-14 変寝夢氏作

協力詰 7手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

			王	兵					
			歩						
				角					

持駒 なし
※49角は中立駒



《第 82 回 WFP 作品展》

解答締切：2016年6月15日（水）

■ 82-1 神無太郎氏作

Isardam協力詰 7手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

			将					角	
						銀			
		飛	王	飛					

持駒 なし

■ 82-2 変寝夢氏作

協力詰 7手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

						金			
							将		
						王			

持駒 鮪

※鮪:Dolphin (Grasshopper+Kangaroo)

■ 82-3 変寝夢氏作

打歩協力詰 9手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

	皇								
王									
									歩

攻方持駒 n角
受方持駒 なし
※持駒角は中立駒

■ 82-4 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -2+1手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
										六
		飛								七
			駒		王					八
							ス			九

持駒 なし

■ 82-5 変寝夢氏作

レトロ協力詰 -10+1手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
						垂				六
										七
							馬	ス		八
							駒		王	九

攻方持駒 なし

受方持駒 G

※G:Grasshopper

■ 82-6 変寝夢氏作

リパブリカン協力詰 3手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
									駒	二
										三
										四
										五
										六
									銀	七
										八
						金		桂		九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

■ 82-7 変寝夢氏作

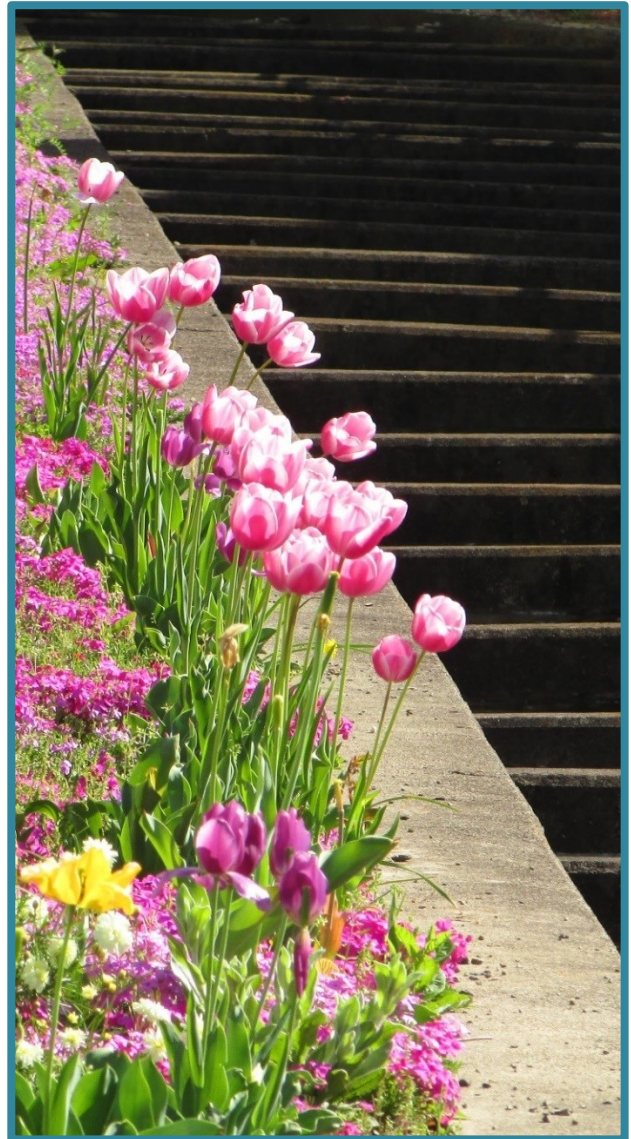
ボカスカ協力白玉詰 6手
9 8 7 6 5 4 3 2 1

										一
										二
										三
										四
										五
							王			六
角										七
							角			八
									王	九

攻方持駒 なし

受方持駒 桂2

以上



推理将棋第99回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第99回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2016年3月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第99回解答」をお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

今月は第99回に因んで「9手詰の難解作品」特集。

初級は9手詰マイスター渡辺さんの作品、通常出題なら中級クラスの難度です。中級は Pontamon さんの“九九”シリーズ1条件作。難解というよりは“解きにくい”印象です。手順を推理する前に九九のお復習いから。上級は DD++ さんの今回テーマの“難解さ”を追究した作品を出題します。

難解作と言っても9手詰の詰み形は限られているので、いつもと同じように気楽に解いてもらえれば幸いです。

■本出題

99-1 初級 渡辺秀行 作

45まで 9手

45に着手する駒種を推理しよう。

99-2 中級 Pontamon 作

九九が3組 9手

どの九九を使うのか、答えの着手地点を推理しよう。

99-3 上級 DD++ 作

鞍上人なく鞍下馬なし 9手

金頭の馬が右に動く形を推理しよう。

99-1 初級 渡辺秀行 作

45まで 9手

「昨日9手目に45へ着手して詰めたんだってね」

「うん、『1段目へ成る着手に歩で応じた手は面白い』って先生が言っていたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手目の45地点の着手で詰んだ
- ・1段目に成る手に歩で応じた

99-2 中級 Pontamon 作 九九が3組 9手

「九九をテーマにした作品を作ったんだって？」

「そうだよ、ゾロ目ついでに9手詰だよ」

「どんな問題なの？」

「2種類の駒の5手で、九九の着手が3組あるんだ」

「ちょっと待った、3組なら6手だろ」

「九九なんだから、同じ答えの九九だってあるだろ」

「なるほど、それも考えないといけないんだな。他の条件は？」

「他の条件は無いよ」

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・2種の駒5手で九九の着手が3組あり、そのうち2組は九九の答えが同じ ※

※九九の着手とは、着手した地点の数字が掛け算の“問題”と“答え”となるような九九の式を満たす2手1組の着手とする。

・九九の“問題”は着手地点の筋と段の一桁数字同士の掛け算とする。

・九九の“答え”は二桁数字で表した着手地点とする。

・九九の着手の組数は九九の式の種類で数え、九九の“問題”と“答え”を組み合わせると一つの式で1組とする。同一の九九の式が2回以上現れても1組に数える。このとき九九の着手には、使用駒種が多い着手（二種使っていれば二種使用の2手）のみを選ぶ。

・ある1手の着手点が九九の“問題”と“答え”の双方に使えるときは2組以上の九九の式に使ってもよい。

- ・着手点を九九の“答え”に使うときは2組以上の九九の式に使ってもよい。
- ・先後の着手、着手の出現順は不問とする。

例1：36歩と92香と18香の着手があれば、 $3 \times 6 = 18$ と $9 \times 2 = 18$ の2組に数える。

例2：36歩と66歩と18香の着手があれば、 $6 \times 6 = 36$ と $3 \times 6 = 18$ の2組に数える。

例3：92飛と29飛と18香の着手があれば、 $9 \times 2 = 18$ と $2 \times 9 = 18$ の2組に数える。

例4：9手中に「92飛、92香、18香、26歩、62歩、12歩」の着手があったとき、九九の式“ $9 \times 2 = 18$ ”を満たす着手は二種駒の着手組「92飛、18香」を選び、一種駒の着手組「92香、18香」は選ばない。残り、 $2 \times 6 = 12$ の「26歩、12歩」と $6 \times 2 = 12$ の「62歩、12歩」と合わせ、「92飛、18香、26歩、62歩、12歩」の三種の駒5手で九九の式が3組と判断する。

本問では、全手順の9手中に九九の着手がちょうど3組あり、3組の着手は2種の駒5手で構成されます。そして、5手のうち“1手”が2組の九九の双方の“答え”を満たしています。

99-3 上級 DD++ 作 鞍上人なく鞍下馬なし 9手

「や、これは、たった9手で詰められてしまった」

「馬をかなり活用できたからね」

「というと、やはり7手目かい」

「そうだね、金頭に馬がいるのに違和感があって、1筋方向へ移動させたら随分よくなった」

「こっちは着手が2つの段に分かれたのがよくなかったかね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・7手目は馬を金頭から1筋方向へ動かした
- ・後手は2つの段に着手した

推理将棋第100回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第100回出題です。はじめての方は「どんな将棋だったの? - 推理将棋入門」をごらんください。

解答、感想はメールで2016年4月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第100回解答」でお願いします。100回を記念して賞品を倍増。解答者全員の中から抽選で2名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント! 1題でも解けたらぜひご解答ください。

2007年にスタートした推理将棋コーナーもおかげさまで今回、第100回を迎えました。

今回の選題は第100回に因んで10手詰の投稿作からやさしい2作品と難しめの中編を1作品。

初級と中級は渡辺さんの10手詰1条件。「難度ゼロ」狙いの投稿作品は何作か集まりましたが、最も易しい2題を出題します。中級も通常出題なら初級クラスの難度。いずれも1条件のためヒントが少ないですが、条件を満たすよう駒を動かしていけば自然と解けるはずです。

上級は一乗谷酔象の中編推理将棋。作者はWeb Fairy Paradise誌で難解な中長編作品を発表していますが、今回おもちゃ箱に仕掛けた記念対局の狙いは何でしょうか。謎を解き明かしてください。

■本出題

100-1 初級 渡辺秀行 作
53駒成の謎 10手

53に成る王手は先手か後手か、その応手も推理しよう。

100-2 中級 渡辺秀行 作
4回目の王手 10手

連続王手の着手地点を推理しよう。

100-3 上級 一乗谷酔象 作
記念対局 34手

9段目の歩の打場所を絞り込んで、詰み形を推理しよう。

■締め切り前ヒント (4月13日頃コメント欄に掲載 NAO)

100-1 初級 渡辺秀行 作
53駒成の謎 10手

「昨日の将棋10手目に詰んで終わったんだって?」

「6手目以降に53に駒を成る王手を見たんだけど、謎な手だよなあ」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

(条件)

・10手で詰んだ

・6~10手目に、53へ駒が成る王手があった

100-2 中級 渡辺秀行 作
4回目の王手 10手

「王手、王手、…」

「4回目の王手は68に銀だよ」

「10手で詰んだね」

さて、どんな将棋だったのだろうか?

(条件)

・10手で詰んだ

・4回目の王手は68への銀の着手だった

100-3 上級 一乗谷酔象 作
記念対局 34手

「師匠、吉報です。おもちゃ箱の推理将棋が第100回を迎えました」

「おお、遂に大台に乗ったか。実にめでたい。記念に一局やるか」

「是非お手合わせ願います。では、私の先手で・・・お願いします」

「うむ、はじめは真似将棋で様子を見ることにしよう・・・おっ、9段目の歩を含め5連続で歩の手を指してくるとは・・・なかなかやるなあ。少しは腕を上げたようだね」

・・・(34手目の後手番で)・・・

「ここまで真似将棋を続けたけど、駒の種類を替えてこう指したらどうだ」

「あら、詰みですね。投了です。負けました。感想戦をお願いします。寄る手もなく6連続で金の手を指した作戦が悪かったのでしょうか。6連続の最初と最後は同一地点でしたし6連続の最初に打った金で4枚の駒を取った後、最初の金打ちと同一地点にもう一度金を打ってしまいましたし」

「こちらは真似将棋だから、その作戦でも形勢互角じゃないのかい」

「桂取りに角を打った手はどうでしたかね」

「それも妙な手だったけど、飛の手より後に歩の手を1回だけ指したのが勝負を分けたな。投了図を見てごらん。双方ともに持駒1枚ずつ、記念対局に相ふさわしい一局だったよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・34手で詰んだ
- ・真似将棋を指し続けたが、最終手のみ駒種を替えて指した※
- ・先手は9段目を含め5連続で歩の手を指した
- ・先手は6連続で金の手を指したが、6連続中に寄る手はなく6連続の最初と最後は同一地点に指した、6連続の最初に打った金で4枚の駒を取った後、最初の金打ちと同一地点にもう一度金を打った
- ・桂取りに角を打った
- ・飛の手より後に歩の手を1回だけ指した
- ・投了図では双方ともに持駒1枚ずつ

※後手は、2～32手目の間、直前の先手の着手に対し55中心の点対称の指し手を着手し続けた。更に34手目は33手目の着手に対し55中心の点対称地点に、33手目と駒種を替えて着手した。

・真似将棋に関わる作品例：おもちゃ箱 38-2、WFP 作品展 55-14

推理将棋第101回出題

担当：NAO

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第101回出題です。はじめての方は「どんな将棋だったの？」 - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2016年5月20日までにTETSUまで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第101回解答」でお願いします。解答者全員の中から抽選で1名に賞品リストからどれでも一つご希望のものをプレゼント！ 1題でも解けたらぜひご解答ください。

今月は第101回に因んで「10手詰1条件」特集。

初級と中級は前回に引き続き、渡辺さんの10手詰1条件作品。前回「難度ゼロ」よりは、少し難しめの作品を選題です。上級は担当からの出題。具体的な棋譜情報がない分、上級としましたがこれが1番易しく感じられるかもしれません。

初級、中級、上級と分けましたが、通常出題ならいずれも難度は中級クラスです。シンプルな1条件は解くためのヒント情報が少なく、読みの迷路に入って意外に難しく感じられることも多くあります。推理のツボを押さえて手順を導いてください。

本出題

101-1 初級 渡辺秀行 作
75飛まで 10手

75飛で詰む形を推理しよう。

101-2 中級 渡辺秀行 作
念には念を 10手

取りをかけなくても取れる飛はどこに居るのか推理しよう。

101-3 上級 NAO 作
ダンシングクイーン 10手

隣接する二つの筋だけで詰む形を推理しよう。

■締め切り前ヒント (5月13日頃コメント欄に掲載 NAO)

101-1 初級 渡辺秀行 作
75飛まで 10手

「どうだ！10手目この75飛で詰みだ」
「参りました」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・10手目75飛で詰んだ

101-2 中級 渡辺秀行 作
念には念を 10手

「9手目相手の飛を取っても良かったんだけどね。念には念を入れて、36歩と指してさらにその飛に取りをかけたんだよ」

「そんな悠長なことしているから10手目に詰まされるんだよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・10手で詰んだ

・9手目の36歩は取れる飛にさらに取りをかける手

101-3 上級 NAO 作
ダンシングクイーン 10手

「70年代の洋楽がBGMとは懐かしいね。将棋の調子はどうだい？」

「おかげさまで右へ左へ軽やかなステップを踏んで10手で詰ませたよ。隣り合う2つの筋をA、Bとすると着手した筋は『ABBA、ABBA、AB』の順番だったんだ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

・10手で詰んだ

・隣り合う2つの筋をA、Bとすると、着手した筋は“ABBAABBAAB”の順番だった

Fairy of the Forest #47

- 2016年02月20日：課題発表：(協力詰)
- 玉が動いて王手
- 2016年04月15日：投稿締切
- 2016年04月20日：出題
- 2016年05月15日：解答締切
- 2016年05月20日：結果発表

■ 出題

今回は、9手詰3題と71手詰1題の計4題。手数のアンバランスさは否めませんね。短編3題は、七郎作長編の練習台にさえならないかも知れません。

とはいえ、たくぼん作はちょっとしたもの。さらに、七郎作はいわずもがなの力作なので、ぜひチャレンジしていただきたいと思います。

4題とも受方持駒制限にご注意を。多数のご解答をお待ちしています。

(解答先)
→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

■ 47-01 神無八級 協力詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									王	一
										二
								玉		三
								香		四
										五
										六
										七
										八
									飛	九

攻方持駒 香
受方持駒 なし

■ 47-02 神無八級 協力詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					飛		王	歩		一
					飛	香				二
							玉			三
							香			四
							飛			五
										六
										七
										八
										九

攻方持駒 歩
受方持駒 なし

■ 47-03 たくぼん 協力詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
						馬				四
										五
						王				六
										七
						香		玉		八
									角	九

攻方持駒 桂
受方持駒 なし

■ 47-04 神無七郎 協力詰 71手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛		銀	一
				金	歩	歩	歩	歩	科	二
				歩	王				と	三
								歩	歩	四
				飛	飛	玉		飛	飛	五
						香	香			六
										七
							歩			八
							入			九

攻方持駒 なし
受方持駒 香2

【短評】

変寝夢さん

2回目のG合が盲点で手こずったが、右上に角を打つ手を読む必要がなかったので助かった。

占魚亭さん

きれいに頭金が決まりました。

たくぼんさん

前回より手が限られているので考えやすい。

☆今回はGが一直線に並ぶだけで、横や斜めの干渉がないので易しかったと思います。でも、解答者はわずか3名。前回の難解作のせいで皆さん敬遠されたのでしょうか。



■ 80-2 神無太郎氏作（正解3名）

協力自玉詰 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							王		三
									四
									五
									六
									七
									八
								王	九

攻方持駒 香
受方持駒 残り全部+G4
※G:Grasshopper

【解答】

29 香 28G 同香 24 飛 27G 26G
25G 14 飛 まで 8手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
							王		三
								飛	四
							G		五
							王		六
									七
							香		八
								王	九

持駒 なし

【解説】

前局の横型に対し本局は縦型ですが、これも「決め手」の前に一工夫する構成の作品です。
初手 29 香は必然ですが、その後の合駒は何が良いでしょう？ 普通なら「29 香 28 飛 同香 27 金 …」などと進めて頭金（または成金）の詰上りを目指すのですが、手数が足りません。
本局では合駒でGが入手できるので、ホッパ一系の駒に特有の手筋、ジャンプ台の駒が避ける「開き応手」でとどめを刺します。7手目から「25G 14 飛」の応酬がそうです。いかにも「返し技」っぽくて気持ち良い手筋ですね。
でも、この手を決行する前にやっておかねばならないことがあります。それは 29 地点の封鎖です。通常の協力自玉詰であれば、もう1枚飛を稼いで「93 飛 83 角」のような手段でここを埋めるのですが、そんな悠長なことはできません。幸い受方のGがまだ残っているので、開き応手の前にG合を出しておき、29 地点に利かせます。2枚縦に並んだGは前局とお揃いで、視覚的にも良い対比になっていますね。

【短評】

変寝夢さん

このパターンも少し慣れてきました。

占魚亭さん

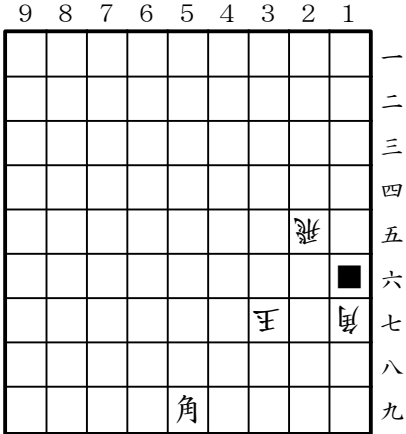
香打ちの透かし詰を予想していました。

たくぼんさん

29 への逃げ道をどうするか・・・Gがありました。

■ 80-3 占魚亭氏作（正解2名）※実質1名

協力詰5手



持駒 飛金

※■:Imitator

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方玉を詰める。

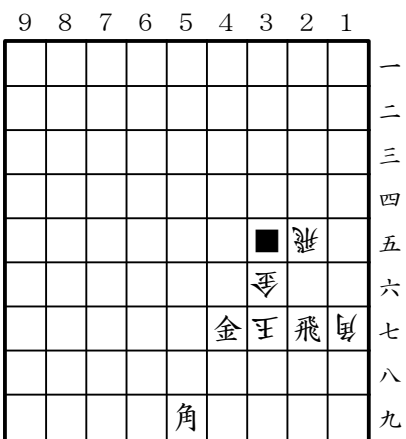
• Imitator (■)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

【解答】(※Imitator の動きを[]内に表記)

27 飛 26 金 38 金 36 金[I26] 47 金[I35]
まで 5 手

(詰上り)



持駒 なし

【作者のコメント】

客寄せ向きの(?) Imitator 使用の 5 手協力詰。2 手目 26 金が狙いの一手です。

受方 17 角を 27 に移動させると別手順の完全

作になりますが、こちらは没にしました。

【解説】

作者の言う「客寄せ」は客寄せにならない…というのは詰将棋欄担当者が知っておくべき常識ですが、本局も正解者実質 1 名の難問でした。

本局は Imitator を利用した両王手の詰上りが最大の特徴です。見た目は三重王手ですが、47 金は王手を掛けておらず(25 飛が Imitator の壁になっている)、飛と角による両王手です。でも、こんな形の両王手はほとんど誰も見たことがないと思います。

では Imitator の動きに注意しながら、最初から順に作意を見ていきましょう。

初形は角が王手を掛けているように見えますが、角で玉を取ると Imitator が盤外に出るので、王手になっていません。基本的に左からの王手はすべて Imitator に防がれています。

そこで初手は右から迫る 27 飛ですが、これに 26 金と応じるのが意外な手です。Imitator を広い場所に持って行きたい局面なのに、壁を増やしてどうするのでしょうか？

その答えは続く 2 手で明らかになります。左右どちらからの王手も無効なので、38 金で下からの王手をします。これに対して 36 金(!)の移動で受けるのがミソ。Imitator が 26 に動くので 25 飛が壁になり、ちゃんと金の王手を防いでいます。しかも、この手は単なる受けではなく Imitator を壁から離し、35 地点への脱出も見据えた一石二鳥の手となっています。実際、Imitator が 35 に飛び出すと角と飛の利きが同時に有効になります。それを実現するのが最終手 47 金です。

47 金で本当に詰んでいるか確認しましょう。25 飛が Imitator の壁になっているので、玉は飛を取れません。36 金が壁になっているので 38 玉ともできません。28 玉も受けになっていません。27 飛が壁になっているようですが、Imitator は他の駒と同時に動くので、飛が玉を取る手を止められません。左辺への脱出は飛と金で抑えられています。確かに詰んでいますね。

振り返ってみると、4 手目金移動の受けが見えないと 2 手目も見えず、非常に難しい作品でした。作者以外の正解者は DD++ 氏ただ一人。お見事です。読者の皆さんは本局を参考に作者のコメントにある「17 角→27 角」案を解いてみてください。作者の Imitator 作品は第 81 回でも登場しているので、こちらも要注目です。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

全然筋が見えず、それでも金打、4 7 玉[j26]、2 7 飛で8筋か9筋に飛を振って右上に角移動かなとひねり出しましたが、無理でした。4手目が特に発見しにくいと思います。

DD++さん

初形を見て **39 飛 28 角**かなと思ったのに全然詰まない。しばらくして、持駒が飛 2 (25は別の駒)なら **38 飛 15 金打 27 飛 14 金 68 角**という短打限定+金打限定の面白い順がある(余詰もあるが……)のを発見。これを作意にしなかったのであれば、

- ・飛金でも同じようなことができる
- ・表現したいことに金の斜め移動が必要(飛2を最初から全く検討していない)
- ・余詰が多すぎて妥協した

のどれかのはず。3番目のような消極的理由ならボツにしているのではと作者を信頼して絞り込み、どうにか解答順にたどり着きました。

一乗谷酔象さん (※誤解)

これで詰んでいるかどうか。

☆一乗谷酔象氏は「**39 飛 47 玉(26l) 49 飛(36l) 37 玉(26l) 28 金** まで」の解答。最終手に対し**35**に何かを打てば、金の王手を防げます。

たくぼんさん (※無解)

後手持駒ありなら両王手しかないと思うのですが・・・



■ 80-4 変寝夢氏作 (正解6名)

レトロ協力詰 -2+1手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					将	王	〇		一
							季		二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

※Q:Queen

【ルール】

- レトロ **-m+n** 手

m手逆算してn手で詰む手順を求める。

- **Queen (Q)**

チェスのクイーン。

飛車と角を合わせた性能を持つ。

(矢印がQの走る方向)

↖	↑	↗	
↖	↑	↗	
←	←	Q	→
↙	↓	↘	
↙	↓	↘	

【解答】

32 金(+22 龍) 33 龍 / 43 桂 まで -2+1手

(詰上り)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

					将	王	〇		一
						季			二
					桂	龍			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

※Q:Queen

(逆算図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					龍	王	〇		一
						香			二
						龍			三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

※Q:Queen

(出題図への手順) 22 龍 同金 まで 2手

(詰手順) 43 桂 まで 1手

【作者のコメント】

2 3 金 (+ 2 2 馬等)、3 3 馬だと 2 1 Q が利いているので、4 3 桂と打てません

【解説】

持駒に桂があればまず考えたいのが吊るし桂の詰上り。でも本局ではQがよく利いており、桂を 43 にも 23 にも打てません。かといって、Qを移動させるような逆算では玉の脇が空いてしまいます。

正解は金でQの利きをブロックする逆算。単純ですが、「その手があったか！」と膝を打ちたくなりますね。ブロックする金の利きも止めねばなりません、その問題は逆算で発生させる駒を龍にすることで解決。駒の利きを無効化する手段として移動だけでなく、遮断も有効であることを印象付ける作品でした。

【短評】

井上順一さん

Q の効きを遮る金をピンして桂打ちで詰み。
21 の駒が Q でないと、11 金(+22 金) 33 金/23 桂 or 43 桂 のような手が成立してしまう。

占魚亭さん

Q を動かすのかと思いました。

たくぼんさん

Q の防御を遮断する狙いが見事です。



■ 80-5 変寝夢氏作 (正解 3 名)

非連続王手レトロ協力詰 -6+1手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
						王			四
					桂				五
									六
							香		七
							卒		八
								角	九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

【ルール】

•非連続王手

攻方に王手の義務がない。

(王手をしても良い)

【解答】(※成駒を生駒に戻す逆算を=で表記)

37 杏 28 角 27 桂持 39 角

35 杏=香(+37 桂) 66 角 / 33 角成まで -6+1 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						馬			三
						王			四
					桂	卒			五
									六
						桂			七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

(逆算図)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
							王		四
					桂	皇			五
		角							六
						桂			七
									八
									九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

(出題図への手順) 39 角 37 香成 28 角 27 桂
19 角 28 杏 まで 6 手

(詰手順) 33 角成 まで 1 手

【作者のコメント】

角が動くために必要な2手を確保してから、桂を持駒にする。

【解説】

成香がどこから来たのか気になる初形。角を 99→55→33 と活用するルートをこの駒が阻害しているので、その来歴は重要です。

先に1手詰を考えると 45 桂に紐を付けつつ玉の逃げ道を塞ぐため、受方 27 桂を攻方 37 桂にする逆算はほぼ決定。つまり香は 37 桂を取って成香になり 28 に進んだという経緯が考えられます。ただし、角が動けないと困る(将棋にパスはない!)ので、桂を駒台に戻す逆算手は後回し。成香を 37 に戻す逆算を優先して 28 を空けます。

角は 33 に成れる位置に戻せば良いのですが、28→55 の直接的なルートは通れません。香は 37 桂を取ったはずなので、55 と 28 を結ぶルートを 37 桂が邪魔しているからです。

では少し遠回りして 28→17→44 のルートはどうでしょう? 実はこれもだめです。1手詰の形では 35 香がいなければいけませんが、これが 44 から 17 への角の移動を妨げています。

幸い、角を 33 に利かせるルートは別にあります。28→39→66 で 33 角成を狙うルートです。これなら香にも桂にも邪魔されることはありません。

王手義務のないレトロは手の選択肢が多くて大変そうですが、本局のように使用駒制限が

ある場合、1手詰の形が想定しやすいので結構論理的に解けると思います。攻方は結局角ばかり動いていましたが、パスが出来ないことを利用した逆算手順の限定は面白いと思います。

【短評】

一乗谷酔象さん

成香の先回りをする裏ルートがあった。

たくぼんさん

詰む形が少ないので最終形をひたすら考えて逆算。角の遠回りが思考外でした。

☆意外と解答者が少ないですね。桂香が所定の位置に戻るまで道草を食うような角の動きが想定しづらかったようです。

■ 80-6 変寝夢氏作 (正解2名) ※実質1名

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							科		五
					歩	王	皇		六
									七
				龍					八
									九

攻方持駒 n香

受方持駒 なし

※n香:中立香

【ルール】

- 中立駒 (「**皇**

どちらの手番でも動かせる駒。

横向きの字か横に n を付加して表記。

(補足)

8) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)

9) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる

10) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。

11) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。

12) 二歩禁が適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。

13) 中立駒は行き所ない駒にならない。

14) 中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→詳細は WFP61 号の「中立駒の紹介」参照。

【解答】

38n 香 27 玉 38 龍 17 玉 19n 香 まで 5 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
							科		五
					歩		歩		六
								王	七
							龍		八
								如	九

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

【作者のコメント】

打ってすぐ取られる中立駒。

【解説】

自分が打った駒を自分で取る——普通はできないことが中立駒では実現できます。

本局はその手筋に2つ工夫を加えています。一つは初手を限定打にしたこと。いかにも39香としたい構図だけに効果的です。もう一つは次の自分の手番ですぐ取る構成にしたこと。間を置いて取るより印象が強烈です。

この一連の手順は元々持駒だったものを持駒に戻すわけですから、駒の損得はないのですが、そのやり取りの間に局面は詰みやすい状態に変わっています。そして最後は今度こそその遠打で終局。最終手18n香の直打ちでは19n香成として逃れます。成らせないための限定打というわけです。もちろん中立駒なので「行き所のない駒」ではありません。一つの香で2回の限定打は、なかなか味のある演出です。

初形 25 桂を香に変えれば 46 歩は省けるの

で、配置には疑問が残りますが、細かいことを気にしないのも作者らしいところなのでしょう。

【短評】

占魚亭さん (※誤解)

最終手は 18 か 19 かで迷いました。

☆占魚亭さんは最終手 18n 香の解答。

香が成れるのをうっかりしたのでしょうか。

たくぼんさん

普通に取り手に気付かず苦労しました。



■ 80-7 変寝夢氏作 (正解2名) ※実質1名

協力詰5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					角				三
									四
							王	ス	五
							桂		六
							龍		七
									八
									九

持駒 n飛

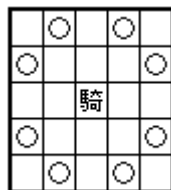
※騎:Knight、n飛:中立飛

【ルール】

• Knight (騎)

チェスのナイト。八方桂。

(○が騎の利き)



【解答】

35n 飛 26 玉 35 角成 16 玉 17n 飛 まで 5 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
						馬	ス		五
							王		六
						騎	飛		七
									八
									九

持駒 なし

※騎:Knight、n飛:中立飛

【作者のコメント】

打ってすぐ取られる中立駒のパート2。3とは最終手を近打と遠打で区別したつもり。

【解説】

前局と同様、自分が打った中立駒を自分で取る手順が狙いの作品。今度は飛です。

ただし、最終手は前局と同じではありません。仮に合駒がなかったとしても、最後 18n 飛などとすると、この飛を横に動かす受けがあるので、詰まないのです。作意のように七段目に打てば、27 騎が壁の役割を果たし(補足説明 4 の中立駒は現手番側の駒を取れないというルールが利いています) 飛を横に動かさせません。もちろん、縦への移動や成も受けになっていません。成ると金になる香と、成っても元の利きを保持する飛の違いが、打ち場所の遠近という形で手順に反映されているのが面白いですね。ただ、合駒が可能な本局の問題設定だと、短打が必然手になるのが残念です。

ところで 27 騎を他の駒に変えたらどうなるでしょう？ この場合「35n 飛 24 玉 33n 飛成 32n 龍 35 角成 まで 5 手」の余詰が成立してしまいます。駒を使わなくてもこの余詰を消すのは容易ですが、この選択はいかにもフェアリー駒に慣れた作家らしいところです。この配置により駒を活用する紛れが生じているので、その順を読んだ人は苦労したと思います。

【短評】

たくぼんさん

80-6 で予習したので一目でした。

☆このようにヤマが当たれば一目で解ける作品なので、この正解者数は意外です。他の方は駒を活用する紛れに嵌ったのでしょうか？

■ 80-8 変寝夢氏作 (正解 3 名)

協力自玉詰 8 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
				王					六
					角	角			七
				飛	飛				八
									九

持駒 なし

※66王は中立駒

【解答】

48 角 同飛成 65n 王 56 金 同 n 王 46n 王
56 金 47n 王 まで 8 手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
					金				六
						王			七
						飛	飛		八
									九

持駒 なし

【作者のコメント】

3～5 手目に中立玉の味を感じていただければ。

【解説】

単玉の自玉詰という中立駒ならではの問題設定の作品。手短に言うと、手番に合わせて中立玉を自玉・相手玉に見立てて、王手と応手を繰り返し、攻方の手番になったとき、自玉に見立てた中立玉が詰む局面を作れば良いわけです。

ルールのおさらいはこのくらいにして、作品の中身の解説に移りましょう。

まず注目すべきは詰上り。何と龍2枚による両王手です。中立玉は玉を動かして王手を掛けることができるので、自ら危険地帯に飛び込むことが可能です。そのおかげで、こういう通常はあり得ない詰上りも可能になります。

また4、5手目に出てくる「合駒を直後に取り手」も特徴的です。特に本局の場合、玉を守るために打った合駒を玉自身が取ってしまうので一層奇妙です。龍2枚を使った詰上りがここでの金合限定に役立っているのも見逃せません。

本局はおそらく、この鮮やかな詰上りからの逆算だと思われそうですが、適度に中立駒らしい手順が入り、初形飛角図式の付加価値も加わりました。両王手の龍のうち一つを伏線的な捨駒で発生させたのも良い構成だと思います。

【短評】

占魚亭さん

65n 王の前に角を1枚消しておくのがポイントでした。

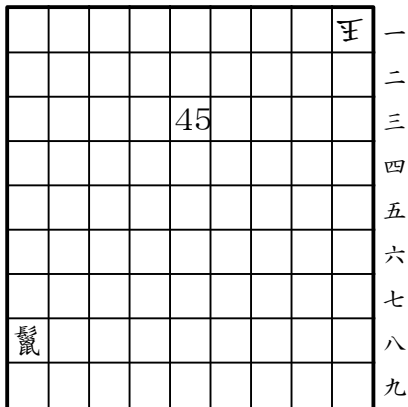
たくぼんさん

中立王にはこの形ですね。
初手の捨駒が入ったのが凄い。

■ 80-9 変寝夢氏作 (正解6名)

連続詰 14手

9 8 7 6 5 4 3 2 1



攻方持駒なし

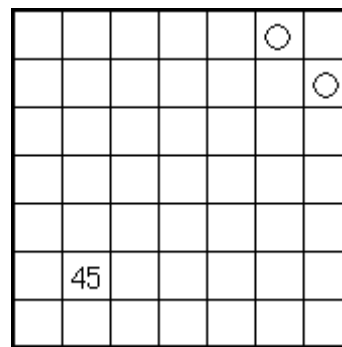
受方持駒なし

※45:(4,5)-leaper、鬣:Lion

【ルール】

• 45 跳 (45)

(4,5)-leaper、即ち4対5の位置に跳ぶ八方桂。

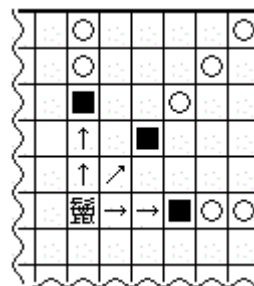


(○が45跳の利き。)

• Lion (鬣)

フェアリーチェスの Lion。

クィーンの利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



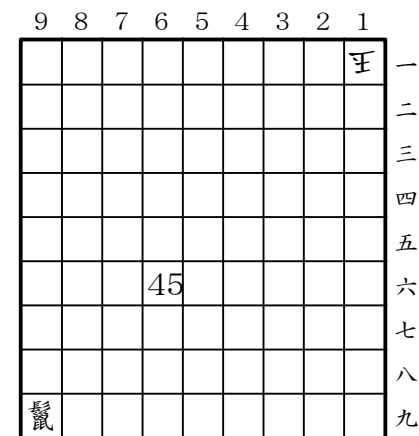
(○が鬣の利き。)

■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

【解答】(※45跳は単に「跳」で表記)

18跳 64跳 29跳 75跳 21跳 66跳
12跳 57跳 92跳 91鬣 99鬣 57跳
12跳 66跳 まで 14手

(詰上り)



攻方持駒なし

受方持駒なし

【作者のコメント】

詰め上がりはこれしかない、将来的に66に移動できる45LPの位置は思ったより少ない、

ということで手がけてみましたが、丁度良い不規則感ではないかと思えます。

【解説】

(4,5)-Leaper (以下、45 跳と表記) という原位置から 4 対 5 に跳ぶ八方桂を使った作品です。跳ねる距離が大きいため、将棋盤上では意外と動ける場所が限られます。まずは何手動かしても良いものとして、45 跳がどこに動けるか確認してみましょう。

	12						6	
10								8
			1					
		3		15				
	5					13		
		7		11				
			9					
16								2
	14							4

上図の着色した部分が可動域。数字は 53 からの跳び順です。跳び先の数はこれが最大で、初期位置によっては可動域が減ってしまいます。

Lion もジャンプ台がない状態だとほとんど動けない駒です。本局はそんな不便な駒 2 枚だけを使って詰めなければなりません。

考えられる詰上りは一種類。跳を 66 に置いて、Lion の斜めの利きを使って王手する形です。

Lion を動かすには、45 跳が Lion のジャンプ台になる位置まで持ってくる必要がありますが、上の図を見ると 92 地点が 98 鬣のジャンプ台となる唯一の箇所だと分かります。

これで方針が決まります。45 跳を 92 まで移動して Lion の位置を斜めに玉を睨む 99 に変更。その後、この Lion のジャンプ台を作りつつ、玉の包囲が可能な 66 へ 45 跳を動かすという手順です。ほとんど紛れもないので、この方針で自然に答えに辿り着きます。

本局は 45 跳と Lion という「程良く不便な駒」の組み合わせで作られた軽いパズルで、解いて楽しめたと思います。なお、初形の 45 跳と Lion の位置を変更するともっと長手数にすることが可能ですので、応用問題として考えてみてください。本局では Lion が動いた後、45 跳が 3 回しか動きませんが、この回数を増やすようにするのがポイントです。

【短評】

詰ガエルさん

とても楽しい手順。
こういう作品はすごく好きです。

井上順一さん

詰上がりを想定して逆算。
手数は長いですが、45L は 2 箇所にはしか移動できないので、難しくはない。
(4,5)-Leaper は、45-しご-死後 で霊としてみました。

☆日本は漢字文化圏なので、駒表記に使える文字も豊富なのですが、今回はあまり良い案が浮かびませんでした。

今後も様々なフェアリー駒が登場することになると思いますが、使用頻度の少ない駒は適当な表記で済ますことも多くなると思います。「A ≡ (4,5)-Leaper」のように代数的表記で出題することもあるかもしれません。

DD++さん

この 45 は実は 16 地点を一次的に巡回移動できるだけなんですね。よくできているというか、よく気づいたなあというか。

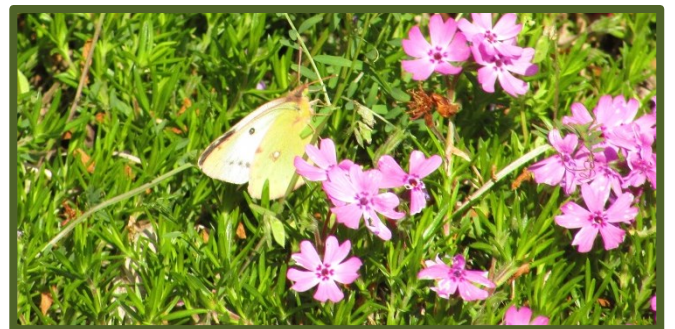
☆良い着眼点ですね。45 跳が辿るコースはややこしそうに見えますが、16 の駅がある環状線を順に巡っているだけなのです。そして Lion に遭ったら同じルートで逆戻り…と。

一乗谷酔象さん

45 の効きは八方向なのに着手できるのは盤上 2 箇所だけですか。

たくぼんさん

紛れは少ないのに何故か鬣を連続して動かす順が盲点に入って大苦戦しました。



■ 80-10 真T氏作 (正解7名)

協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				龍		G		王	一
							將		二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

※G:Grasshopper

【作者のコメント】

狙いは邪魔駒発生。

ホッパー系のフェアリー駒に慣れるために創作しました。

【解答】

13G 21金 31G 12金 13G まで 5手

(詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				龍				王	一
							將	王	二
								G	三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

ここしばらくフェアリーから遠ざかっていた作者、待望の再登場です。

初形から4手掛けるとあら不思議、盤上に受方の駒が1枚増えているではありませんか!...実は作者のフェアリーデビュー作も、そんな作品でした。舞台は第10回PWCばか詰作品展。今から約10年前の話です。

まずはその作品を振り返ってみましょう。

〔参考図〕 真T作

(第10回PWCばか詰作品展、2006年11月)

PWCばか詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
							角	王	五	
								飛	六	
									王	七
										八
										九

持駒 なし

28飛 26桂 18飛 同桂成/26飛 27飛 まで 5手

この作品では4手掛けて18に受方の駒を置き、退路を封鎖します。初形と詰む1手前の局面の違いは18圭の有無しかありません。

今回出題された作品も狙いは同様です。初形と詰む1手前の局面の違いは12金の有無だけ。12金のおかげで13Gが両王手となり、受けなしになります。デビュー作と主題は同じでも、意味付けは異なるというわけですね。

発生させる駒が金に限定される理由も明快。13Gのとき、21への移動合ができる困るので、21から12に動けるが、12から21へは動けない駒を選ばねばなりません。それが金合の理由です。将棋駒の非対称性を上手に利用した作品ですね。

「初形と詰直前の類似性」を持った作品というと、筆者は次の作品を思い出します。

〔参考図〕 柳田明作

(2006年11月、近代将棋、塚田賞短編賞)

詰将棋 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
							王	王	二	
							歩	歩	三	
								王	四	
									五	
							桂	歩	將	六
									馬	七
									將	八
									桂	九

持駒 飛2角

45飛 同銀 27飛 26歩 同飛 35玉
24角 同金 36歩 同銀 25飛 同玉

26 馬 まで 13 手

(※注:4 手目 26 歩は非限定。香や銀でも良い。)

この作は「取らせ短打」の構想で有名ですが、初形と詰む 1 手前の盤上配置には、33 金が 24 金と上がる 1 手分の相違しかないという特徴も持っています。達成目標の近さと、それに至る手順の困難さのコントラストが良いですね。

局面間の類似と相違を強調する構成は、短編でも長編でも、本格的な構想作でも軽い手筋物でも、もちろんフェアリーでも大抵のルールで使える汎用性の高い演出法です。皆さんも自作でぜひ活用してください。

【短評】

変寝夢さん

いろんな意味でピアノの練習曲のような作品ですね。

詰ガエルさん

洒落た手順。

井上順一さん

龍と G の両王手で詰み、を実現するための金合。

占魚亭さん

これは見事。

DD++さん

バッタの反復斜め跳びと片方しか移動できない金。形を見て何がしたいか分かり易いのはうれしいですね。

ところで、51 龍配置が 41 龍では余詰があるのはわかりますが、51 飛や 41 飛でも余詰むんですかね。あるいはマギレを増やす目的？

☆41 に飛を置くと初手 51G も成立。龍は飛でも同じなので、好み、あるいはその時の気分だと思います。

一乗谷酔象さん

金の弱点を突く。

たくぼんさん

12 金が自然に出現する魔術のような作品。

【総評】

変寝夢さん

imitator はいろんな可能性がありそうですね。1, 2 が解けて満足です。

DD++さん

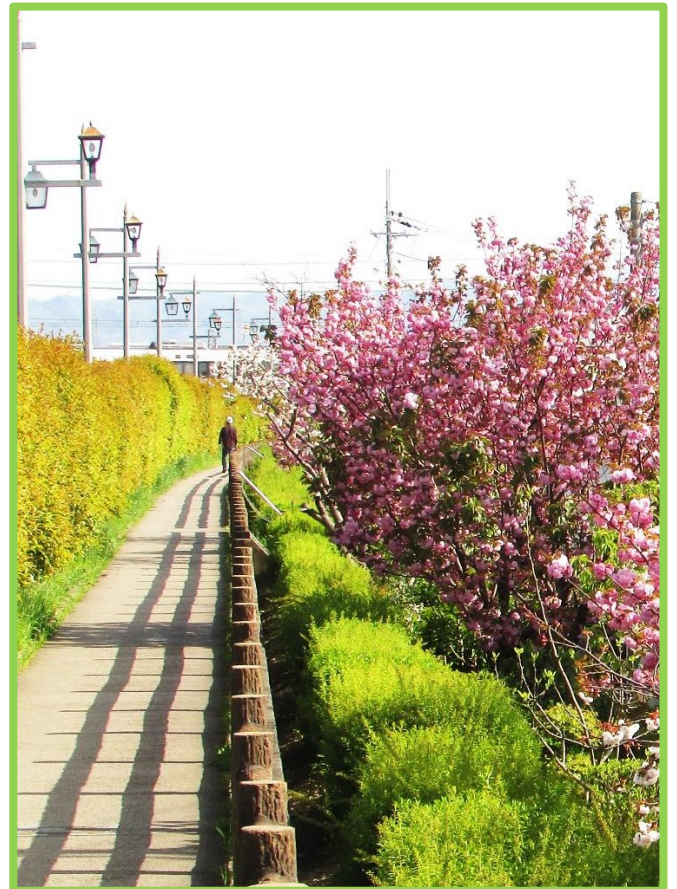
ここ何回か私じゃ手を出せなさそうな問題ばかりというのが続いていましたが、久々に解答できる問題がありましたので数ヶ月ぶりに。

たくぼんさん

一番簡単そうなのが解けないとは参りました。

☆最近メールが届いたり届かなかったりする事態が何回か起きたので「詰将棋担当業務用」(<http://k7ro.sblo.jp/>)というブログを立ち上げました。Onsite Fairy Mate の掲示板もありますが、そこも使えない場合の予備のつもりです。メール不達が疑われる場合は、このブログのコメント等でお知らせください。

以上



強欲な世界 パート6解答発表

全回のパート5では1題にも関わらず解答者数が3名と激減してしまいましたが今回は初解答の方を含めて5名とちょっとだけ増えました。

【解答者】(敬称略)

江市 滋、橋本孝治、井上順一、占魚亭、一乗谷酔象

たくぼん作 強欲協力詰 77手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と	香	と	と	と	香			王	一
		歩				銀			二
				玉					三
									四
	歩		ス		歩	歩	歩	と	五
	と	香		歩				皇	六
角			金	科	科	科	科	皇	七
香		飛		皇	爵		皇	銀	八
飛		金	歩		銀	金		角	九

持駒 なし

- 88 角 同金 21 銀成 同玉 31 と 同玉
- 41 と 同玉 51 と 同玉 61 と 同玉
- 71 歩成 同玉 76 飛 同と 81 と 同玉
- 92 飛成 同玉 93 歩 同玉 94 歩 同玉
- 95 と 同玉 96 歩 85 玉 76 金 96 玉
- 97 歩 同玉 88 金 同玉 78 金 同玉
- 77 金 69 玉 58 銀 同玉 48 金 同玉
- 39 銀 同玉 28 角 同玉 17 銀 同玉
- 16 と 同玉 17 香 25 玉 26 香 35 玉
- 36 香 45 玉 46 香 56 玉 67 金 46 玉
- 57 金 36 玉 47 金 26 玉 37 金 17 玉
- 27 金 同玉 39 桂 36 玉 48 桂 46 玉
- 58 桂 45 玉 57 桂 55 玉 47 桂 まで 77手

★ 解説するところはそんなにないんですが、初手21銀から入っていただき頭を捻って頂いて、51手目に17香のところで打ち場所を考えて頂き、最後に桂の打ち場所と玉の逃げ場所を考えて頂いて、詰上がりに驚いて頂くというストーリーです。この詰上がりの珍形はさすがに史上初だと思いますので発表できただけでも満足です。

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				玉					三
									四
				王					五
									六
				桂	桂				七
				桂	桂				八
									九

持駒 なし

江市 滋

初手がすべてで、初手さえわかれば、あとは手なりに進む。初手が可能な11まで逆算し、かつ53玉に意味を持たせ、しかも詰め方の歩の存在に更に光を与えた前半の逆算は、作者として成功——といったところだろうか。(多少は、初手に気付きにくくさせる意味もあるかも知れないし)

★ 初解答ありがとうございます。本名は有名な方です。「解答者が少ないのも淋しいので、単なるにぎかしです。」との事ですが、ありがたいことです。

橋本孝治

持駒桂4枚の四桂詰からの逆算ですね。強欲条件がないと非限定が出る形なので良いアイデアだと思います。考えるところは初手の伏線くらいですが、この主題にはこのような軽くて流れる手順が合っていると思います。

井上順一

都玉の四桂詰。角飛を捨てる伏線から始まって、手に入れた4枚の香を犠牲に4枚の桂を入手してのみごとな詰上がり。

占魚亭

七段目に並んだ桂4枚から怪しい匂いがぷんぷん(笑)。17香からの手順が素晴らしいですね。傑作!

一乗谷酔象

都の四桂詰とは、珍型ですね。いつものように収束で下段に追い込む順(79手)に惑わされました。

★ パート7出題はP31で

フェアリー版くるくる作品展6

解答者は、橋本孝治さん、占魚亭さん、井上順一さんの3名と低調でした。

くるくる10

橋 圭伍作 協力白玉詰 274手

										一
金	金		皇	皇						二
香	歩		科							三
王		香	王							四
										五
										六
桂	桂	桂								七
										八
										九

攻方持駒 飛 歩17

受方持駒 飛 金

96 飛 95 飛 同飛 84 玉 86 飛 85 金
 94 飛 同玉 96 飛 95 飛 同飛 84 玉
 85 飛 94 玉 84 飛 同玉 86 飛 85 飛
 75 金 94 玉 95 歩 同飛 85 金 同飛
 「96 飛 95 金 同飛 84 玉 85 飛 94 玉
 84 飛 同玉 86 飛 85 飛 75 金 94 玉
 95 歩 同飛 85 金 同飛」×15
 96 飛 95 金 同飛 84 玉 94 飛 同玉
 95 歩 84 玉 75 金 同桂 まで 274 手

詰上図

										一
金	金		皇	皇						二
香	歩									三
	王	香	玉							四
歩	皇	科								五
										六
桂	桂	桂								七
										八
										九

持駒 なし

★ くるくるにはは難しかったかもしれない。実際私も歩の消去方がなかなか分からなかった。歩を捨てるのは94の地点しかないの

だが金で取らず手順を考えていたが上手くいかない。橋本さんも同じ感想でしたが75金がちょっと見え難い手となっています。歩消去のメカニズムが少々ややこしいので手順省略も×15となっていますが、くるくるレベルアップ版ということでご容赦下さい。

橋本孝治

一筋縄ではいかない作。持歩消去のサイクル中、75金が枠外から打つ感覚で気付きにくい手。これで解けたと思ったら計算が合わず、最後の歩は消す必要がないことに気付くまで少し時間が掛かりました。掛け算が「×15」になったのはこのシリーズ初めてではないでしょうか？

★ 下のように占魚亭さんの手順表記は×16でした。区切る所の違いで変わるんですね。

96 飛 95 飛 同飛 84 玉 86 飛 85 金

94 飛 同玉 96 飛 95 飛

「同飛 84 玉 85 飛 94 玉 84 飛 同玉 86 飛 85 飛 75 金 94 玉 95 歩 同飛 85 金 同飛 96 飛 95 金」×16

同飛 84 玉 85 飛 94 玉 84 飛 同玉
 86 飛 85 飛 75 金 94 玉 95 歩 同飛
 85 金 同飛 96 飛 95 金 同飛 84 玉
 94 飛 同玉 95 歩 84 玉 75 金 同桂
 まで 274 手

占魚亭

金を持駒にする序奏に少々手こずりました
 井上順一（286手解）

歩を消費するサイクルはわかったのだが、手数が短縮できなかった。

★ 最後の1歩は消去する必要がないんです。解答者にすると1つの趣向構成となっている感じがしてこの破調は見破り難いと思います。手数が分からなければかなりの数の人が間違えるかもしれません。一度「手数非表示協力詰作品展」開催も面白いかもしれませんね。

推理将棋第99回出題解説

担当：NAO

出題：平成 27 年 2 月 23 日
 解答締切：平成 28 年 3 月 20 日

「9手詰の難解作品」特集。
 短手数でも多様な難易度の作品ができることを再認識できましたが、99-2では説明不足と余詰があり、担当にとっても難解な特集でした。

99-1 初級 渡辺秀行 作 4
 5まで 9手

「昨日9手目に45へ着手して詰めたんだってね」
 「うん、『1段目へ成る着手に歩で応じた手は面白い』って先生が言っていたよ」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

- (条件)
- ・9手目の45地点の着手で詰んだ
 - ・1段目に成る手に歩で応じた

出題のことば (担当 NAO)
 45に着手する駒種を推理しよう。
 追加ヒント
 31地点に角を成り、45地点に角を打つ。

推理将棋99-1 解答

- ▲7六歩 △3四歩 ▲2二角不成 △6二玉
- ▲3一角成 △6四歩 ▲5三馬 △7二玉
- ▲4五角 まで9手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	將	帝		帝		科	皇		一
	飛	王								二
歩	歩	歩		馬	歩		歩	歩		三
			歩			歩				四
					角					五
		歩								六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
								飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香		九

持駒 銀歩

- (条件)
- ・9手目の45地点の着手(▲45角)で詰んだ
 - ・1段目に成る手(5手目▲31角成)に歩(6手目△64歩)で応じた
- Suiri991

本作は、合い効かずの筋違い角で詰むの形の一つです。離し角で詰む72玉の予備知識があると簡単。12、23、33等1～3筋方面の玉型を目指す失敗します。

止めの一手が45の着手で詰む形は限られております。作意のように72玉形に53に角か馬を置いて45に角を打つ形。もう一つは33玉形に35角を置いて45に桂を打つ形です。45に金を進出する形は9手では詰みに至りません。

・45角を打つ形は・・・
 53角/馬を置くまでの角の経路は22～31～53と22～44～53の二系統あり。53不成を含め角の成るタイミングをずらすと8通り。後手は34歩の後、62～72の玉移動と64歩が必要だが64歩のタイミングが3通り。双方組み合わせ手順は24通り。

本出題の"一段目に成る手"から、▲22角不成～31角成～53馬が確定。初手から「▲76歩 △34歩 ▲22角不成 △62玉 ▲31角成」と進み、成る手に"歩で応じた"ことから、5手目▲31角成の後の6手目は△64歩に決定。6手目以降「△64歩 ▲53馬 △72玉 ▲45角」まで。

- ・45桂を打つ形は・・・

1 段目に成る手順からは 45 桂で詰む手順はなく本作品では成立しない。参考までに 22 に角が成って桂を取る手順を示す。「▲76 歩 △34 歩 ▲22 角成 △42 玉 ▲21 馬 △33 玉 ▲35 角 △42 銀 ▲45 桂」

予備知識がないと角以外の攻めも少し考えさせる簡素 2 条件、ちょっとだけ難しめの初級 9 手詰でした。

それでは皆さんの短評をどうぞ。

渡辺秀行(作者) 「この詰形を知っているかどうか」

■45 着手で詰む形は 72 玉-45 角型と 33 玉-45 桂型の二通り。知っていれば簡単ですが、これを知っている解答者は少なかったと思います。

NNN 「45 角から浮かぶ詰みパターンは裏切られてなかったのだから何とか解けました」

加賀孝志 「スッキリわかりやすいヒント条件」

隅の老人 B 「3 手目の角生が好手。これで 6 手目に歩が動かせませす」

小木敏弘 「4 5 着手は大ヒント、銀打ちの場所ではなく、角筋を通す歩つきがいい味でした」

■筋違い角が見えれば、自然と解けますね。

小山邦明 「45 の着手を金では手数がかかるのに気付いて解けました」

■桂は考えませんでしたか？

RINTARO 「最終手 45 桂や 45 金をしっかり考えた後、45 角に辿り着き、暫く解けた」

孔明 「追加ヒントで▲4 五角で詰みだと明らかになっても 7 手目▲5 三馬が見えず悩みました。上部に出てきて銀を打つことばかり考えました」

山下誠 「角成から 5 三馬の筋が見えず、結構手こずりました。巧みな条件です」

斧間徳子 「解けてみれば簡単だが、53 馬がなぜか見えなくて 72 玉型を捨てていたため、大苦戦」

■45 角の筋を通すための事前準備。53 馬と 64 歩が見えずらいのは、5 筋と 6 筋の双方に手を掛けるためでしょう。

変寝夢 「追加条件 4 手目玉、5 手目 3 1 角成で 5 2 0 万局面 5 分。5 4 玉あたりで詰むと思っていたので意外」

■54 玉に離し角の 36 角で詰む筋はありましたね。

Pontamon 「9 手目 36 なら角で確定でしょうが、45 地点の条件が紛れ最大になる好条件ですよね。『桂かな？』『角かな？』『玉は 4 筋のどっち側？』『54 の書き間違いじゃないのかな？』とかもあったりして…」

DD++ 「離し角の合駒なしは確かに普段なら初級出題は避ける場所ですね。しかしそれにしても、離し角を知らない人でも自力で気づけそうな、だけど露骨でない、絶妙なラインをついたうまい条件」

はなさかしろう 「2 枚角の威力ですね。9 手目の着手点に 45 が選ばれているのが興味深いです」

■45 を 54 に替えると香打ちの筋、63 に替えると金打ちの筋がありますね。見え見えの 36 ではなく、ちょっとだけ桂打ちの筋を考えさせる 45 の選択でしょう。

S.Kimura 「寝ながら考えて、解けたつもりになっていたのですが、ヒントを見たら、角を成った場所が違っている。よく考えてみると、考えた手順の最終手は 45 ではなく 54 でした。なるほど。条件が 54 でないのはこの余詰を防いでいたのですね」

■追われた手順は 11 角成で香を取る筋ですね。

波多野賢太郎 「4五の着手は角だと思ったので、考えやすかったです。シンプルな条件で手順が限定されているのがうまいなあと思いました」

飯山修 「45で詰むと言われてピンときたのが85-4の27角迄の作。試してみるとピタリ」

占魚亭 「45角迄と決め打ちしたので、すぐに解けました」

たくぼん 「9手で45で詰めようとしたら角しか思いつかないです」

■第一感通り。変に桂や他の駒に手を出さないのが、近道です。

攻めダルマン 「23玉での詰みあがりを予想してましたが違いました」

諏訪冬葉 「玉が上がってくるのは手数足りなそうなので角と予想。あとはどこが詰めやすいか」

柁彰介 「玉を右側に移動させて3一角成が王手になり、困っていたので、7二で詰まされるのは意外でした。▲5三馬が6二の逃げ道を防ぎ、△5四歩の無駄合も防いでびったりなんです」

■右側の1~3筋方面では、手数が足りませんね。9手詰の予備知識として、「1筋か2筋の玉が詰む9手詰はない」ことは覚えておいていかもしれません。

正解：23名

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 孔明さん 小木敏弘さん 小山邦明さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 攻めダルマンさん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん 変寝夢さん Pontamonさん 柁彰介さん 山下誠さん RINTAROさん 渡辺さん

99-2 中級 Pontamon 作 九九が3組 9手

「九九をテーマにした作品を作ったんだって？」

「そうだよ、ゾロ目ついでに9手詰だよ」

「どんな問題なの？」

「2種類の駒の5手で、九九の着手が3組あるんだ」

「ちょっと待った、3組なら6手だろ」

「九九なんだから、同じ答えの九九だってあるだろ」

「なるほど、それも考えないといけないんだな。他の条件は？」

「他の条件は無いよ」

(条件)

・9手で詰んだ

・2種の駒5手で九九の着手が3組あり、そのうち2組は九九の答えが同じ※

※九九の着手とは、着手した地点の数字が掛け算の"問題"と"答え"となるような九九の式を満たす2手1組の着手とする。

・九九の"問題"は着手地点の筋と段の一桁数字同士の掛け算とする。

・九九の"答え"は二桁数字で表した着手地点とする。

・九九の着手の組数は九九の式の種類で数え、九九の"問題"と"答え"を組み合わせると一つの式で1組とする。同一の九九の式が2回以上現れても1組に数える。このとき九九の着手には、使用駒種が多い着手(二種使っていれば二種使用の2手)のみを選ぶ。

・ある1手の着手点が九九の"問題"と"答え"の双方に使えるときは2組以上の九九の式に使ってもよい。

・着手点を九九の"答え"に使うときは2組以上の九九の式に使ってもよい。

・先後の着手、着手の出現順は不問とする。

例1：36歩と92香と18香の着手があれば、 $3 \times 6 = 18$ と $9 \times 2 = 18$ の2組に数える。

例2：36歩と66歩と18香の着手があれば、 $6 \times 6 = 36$ と $3 \times 6 = 18$ の2組に数える。

例3：92飛と29飛と18香の着手があれば、Cの2組に数える。

例 4：9 手中に「92 飛、92 香、18 香、26 歩、62 歩、12 歩」の着手があったとき、九九の式"9x2=18"を満たす着手は二種駒の着手組「92 飛、18 香」を選び、一種駒の着手組「92 香、18 香」は選ばない。残り、2x6=12 の「26 歩、12 歩」と 6x2=12 の「62 歩、12 歩」と合わせ、「92 飛、18 香、26 歩、62 歩、12 歩」の三種の駒 5 手で九九の式が 3 組と判断する。

本問では、全手順の 9 手中に九九の着手がちょうど 3 組あり、3 組の着手は 2 種の駒 5 手で構成されます。そして、5 手のうち"1 手"が 2 組の九九の双方の"答え"を満たしています。

出題のことば (担当 NAO)

どの九九を使うのか、答えの着手地点を推理しよう。

追加ヒント

飛歩の 2 種駒で『12, 34, 42, 62, 76』の 5 地点に着手する。

修正

『2 種の駒 5 手で九九の着手が 3 組』→『2 種の駒 5 手で九九の着手が 3 組あり、そのうち 2 組は九九の答えが同じ』に修正

推理将棋 9 9 - 2 解答 担当 NAO

▲ 7 六歩 △ 3 四歩 ▲ 2 二角成 △ 4 二飛
 ▲ 2 三馬 △ 1 二飛 ▲ 1 四角 △ 6 二飛
 ▲ 4 一馬 まで 9 手。

詰上がり図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
皇	科	護	香	王	馬	護	科	皇	一
			飛						二
歩	歩	歩	歩	歩	歩			歩	三
						歩		角	四
									五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

持駒 金歩

(条件)

- ・ 9 手で詰んだ
- ・ 2 種の駒 5 手で九九の着手が 3 組あり、そのうち 2 組は九九の答えが同じ
 (飛と歩の 2 種で 5 手：▲76 歩、△34 歩、△42 飛、△12 飛、△62 飛。九九の式は $7 \times 6 = 42$, $3 \times 4 = 12$, $6 \times 2 = 12$ の 3 組。 $3 \times 4 = 12$ と $6 \times 2 = 12$ は九九の答えが同じ)

Suiri992

本作は、Pontamon さんの九九シリーズの難解作品です。前作までは $9 \ 2 - 1 (7 \times 5 = 35)$ 、 $9 \ 5 - 1 (7 \times 8 = 56)$ のように、九九の式で着手地点が明示されていましたが、本出題では"九九"にどの式を使うのか、示されておらず、九九の式を満たす着手地点の推理が加わります。盤面以外で頭を使わないと解けない点、通常の作品と難しさが異なります。解図は九九の式を満たす着手の組み合わせ探索から入ります。

九九の着手は・・・

九九の式の答えになる着手地点は全 23 箇所

(12,14,15,16,18,21,24,25,27,28,32,35,36,42,45,48,49,54,56,63,64,72,81) そのうち、複数の九九の答になる着手地点は (25,49,64,81 を除く)19 箇所。単純に絞り込むのは容易ではない。

・九九の着手の少なくとも一つは角道を開ける手、 $7 \times 6 = 42$ (▲76 歩～△42 X)、 $9 \times 6 = 54$

(▲96 歩～△54 歩)、 $3 \times 4 = 12$ (△34 歩～△12 X) などが有力。

・複数の"九九"の答えになる地点は、 $12(2 \times 6, 3 \times 4, 4 \times 3, 6 \times 2)$ 、 $15(3 \times 5, 5 \times 3)$ 、 $16(2 \times 8, 4 \times 4, 8 \times 2)$ 、 $24(4 \times 6, 6 \times 4)$ 、 $32(4 \times 8, 8 \times 4)$ 、 $42(6 \times 7, 7 \times 6)$ 、 $54(6 \times 9, 9 \times 6)$ 等。ほとんどの地点は、詰みと関係がない無駄手が入りそう。

・九九の式に用いる 2 種駒は、角道を開ける歩と大駒の組み合わせの"歩+角"か"歩+飛"が有力な候補になるが、後手陣内 2 段目で移動可能な飛が使いやすい。

・▲76 歩+△42 飛($7 \times 6 = 42$)、△34 歩+△12 飛($3 \times 4 = 12$)と使うとすると、残りは 12 地点を二つ目の九九の式の答えとして、△62 飛+△12 飛($6 \times 2 = 12$)。先手の▲76 歩と後手の△34 歩、△12 飛、△42 飛、△62 飛を組合せた手順を推理すれば解に到達できる。

・詰形を飛で壁を作る"51玉+62飛"型と決め打ちすると、後手の指す4手は△34歩～△42飛～△12飛～△62飛。

・先手は後手が△12飛と指せるよう角を取って協力する。

初手から「▲76歩 △34歩 ▲22角成 △42飛」

・"51玉+62飛"型では、玉腹の41に角馬の2枚を効かせればよい。

5手目から「▲23馬 △12飛 ▲14角 △62飛 ▲41馬」まで。

▲23馬～▲14角の手順が△12飛～△62飛と上手く噛み合う。5手目▲31馬～▲32角のように7手目32か52に角を打つ手順では8手目△62飛が指せず失敗。

"九九"を用いた"難解"な"9手詰"は、第99回のテーマにぴったり。作意手順もきっちり割り切れた短編の好作品です。しかしながら、担当の説明が拙く、出題時には説明不足、後で追加した補足説明は難解特集とは言え実に重く、解答者に難解というよりは"解く気がしない"印象を与えたこと、申し訳ありませんでした。

・紛れがなく明解な条件の示し方について、渡辺さんから助言いただきましたので紹介します。

(渡辺さんのコメントより)

・3組の「異なる九九の式」を表わすペア着手があり、それは以下を満たす

a. 九九の式を表わすペアとは2つの着手であり、着手された地点(棋譜表記は同でも良い)の数字で一方を乗算、他方を二桁の数と見做し、九九の等式が出来るものである

b. 同じ九九の式を表わすペアが複数考えられるときは指された駒種の最も多いものを選択する

c. 3組のペアに登場するのは合計5着手である。すなわち、ある着手は複数の九九の式を表わすペアに組込まれることとなる

d. 3組のペアに登場する駒種は丁度2種であるすなわち『3組の「異なる九九の式」』が主となるように書くのです。

・修正前『2種の駒5手で九九の着手が3組』条件の余詰手順

▲76歩 △62玉 ▲33角不成 △64歩 ▲42角成 △88角成 ▲41馬 △24歩 ▲63金まで。

7x6=42, 8x8=64, 6x4=24のように64地点を掛け算と答えの双方に使う手順が成立。はなさかしろうさんからご指摘いただきました。修正では"2組の九九の答えが同じ"を追加。

それでは皆さんの短評をどうぞ。

Pontamon(作者) 「稚拙な条件文ならびに検討不足による余詰みをお詫び申し上げます。3つの九九の式をストレートに条件文に入れると文が長くなり、12飛、42飛、62飛の着手を明かすと簡単過ぎるので、万人が知る"九九"という言葉も条件文に入れ、この軽いジャブによって条件文を短くしつつ少し解きにくくするのが狙いでした。9手詰で有力な着手である76歩と34歩から、もう一つの駒種と着手地点は容易に浮かんで来るはずで、解答者にとっては簡単な条件でも出題担当者には余詰み検討が苦行になったことと思います。(盤上の九九の答え地点は23ヶ所で九九は48個)解答者もこっち側(48個の中から3個の九九の組み合わせ)から解こうとするとドツボにはまります。と言う私も97-1では条件に合う着手可能な全地点の割り出しから始めたのですが(笑)」

RINTARO 「条件が意味不明でスルーしていたが、その後説明が追加され、飛と歩の2種類に絞り考え、76歩34歩62飛42飛12飛にあたりを付けると、あっさり解けた」「改めて、出題ページを見ていましたら、下の方で長いコメントのやり取りを拝見しました。私を始めとした回答者の意見を代弁していただいた渡辺さんには感謝の意に堪えません。ありがとうございました。おかげさまで解けました」

渡辺(双方解) 「あっさりした手順。担当者が複雑な条件に固執した理由が分かりませんでした。「2種駒からなる5手を巧く選べば3つの異なる九九の式が作れる」という私の最初の解釈でもこの余詰と作意しかないようです。また4つの異なる九九の式は(5手に限らなくても)無理そうですね。

・9手で詰み

・5つの(同一の式も可)九九のペアがあった

・直後の手の九九の答になる手があった

(例:16の着手の直後に44の着手;16=4x4) 感の良い人なら手なりで解けるでしょうか」

たくぼん 「条件がややこしいのがちょっと残念」

斧間徳子 「確かにヒントなしでは解けない難問だったが、条件が非常にわかりにくく、解けないというより解く気がしない。締め切り前ヒントの"飛歩の2種駒で『12, 34, 42, 62, 76』の5地点に着手する"というのをそのまま条件にした方が佳作と思う」

■"難解作特集"のため、補足説明では敢えて九九の式を重く定義しましたが、裏目だったようです。

はなさかしろう（双方解） 「裏推理を使うと勿体ないので、使い勝手の良さそうな組み合わせを軸に試行錯誤していきまして、12香は広がりがないので飛車を使ってみよう、というところで解決。チャレンジングな条件で解き方を工夫するのも楽しかったです。

※ 出題条件ですと、対象の5手は解答者側が選びたいになるので、例4の『9手中に「92飛、92香、18香、26歩、62歩、12歩」の着手があつたとき、九九の式"9x2=18"を満たす着手は二種駒の着手組「92飛、18香」を選び、一種駒の着手組「92香、18香」は選ばない』では、「92香、18香」を選ぶ方が自然な気がしました。そこで、これが選べたとしたら生じる余詰があるのかも考えてみましたが、今のところ見つけられていません。上記回答が作意ならば、「着手地点は9カ所」という条件があつた方がわかりやすかつたかな、など思ったりもします」

DD++ 「条件は簡素である方が望ましいとはいえ、合致するかしないかがあやふやでは本末転倒。特に作意順に全く関係ないけれども紛れ順に出てくるようなパターンへのケアは不足しがちです。

今回の場合、『▲76歩▲33角△42何か▲同角』という形は紛れで絶対出てくるわけなので、これが何種何枚何組の扱いになるか抜けていたのは手痛いですね。『▲75歩▲35歩△35歩△15歩は1種3枚2組なのか1種4枚2組なのか?』みたいなのはおそらく紛れでも出てこないのでもそまでのケアは不要でしょうけれど、しかしそもそもそんな問題が生じない条件表記であるのが望ましいです。

余詰は△88角の順ですかね。あと Pontamonさんの意図していたらしき『式が重複してもいいから3組』だと▲76歩▲16歩△44角▲同角▲42角みたいな筋も」

■そのほか「2種の駒5手で九九の着手が3組」の広い条件解釈なら「▲76歩 △34歩 ▲22角成 △62飛 ▲23馬 △12飛 ▲14角 △62飛 ▲41馬」のうち、2種の駒5手「▲76歩 △34歩 △62飛 △12飛 △62飛」で九九の着手が3組「3x4=12, 6x2=12, 6x2=12」と見做すことも考えられ、收拾がつかなくなるので重い条件定義となりました。いずれにしても出題の前にすっきりした条件説明を詰めておくべきでした。

小山邦明 「新しい条件の定義設定は難しかったと思いますが、大変面白い作品で楽しめました」

NNN 「難しいですね。角と歩の2種かと思ってました」

山下誠 「1二飛が入ることで、先手馬の動きをうまく限定する。なかなか面白いパズルでした」

小木敏弘 「積が12、また、76~42は大本命なのですが、なかなか解けませんでした。飛車の動きに妙味があります」

■後手飛の動きをアシストする先手の馬と角が絶妙です。

隅の老人B 「問題文の意味が理解出来ないが、3x4=6x2、1x4=4x1、これでどうかな？」

■九九の答えは二桁で表すお約束です。が、手順は合っています。

榊彰介 「後手の駒渡シアシストが得られない居玉は固く、吊し桂を狙うと手数足りず、なかなか攻略出来ませんでした」

諏訪冬葉 「ヒントから玉を動かす余裕がないことは分かったのですが、22角成の必然性から桂吊るしを中心に読んでいました」

■43 や 33 の吊し桂で詰ます9手詰手順では、なかなか九九の式を増やせません。

波多野賢太郎 「これは条件の意味を読み取るのが難しかったです。補足説明を見て理解できました。とりあえず、7六に4二か、9六に5四かと考えながら解き始めました。筋道立てて解くというよりは、あれこれ手を考えながら、飛車を使わないとダメだとかがわかって、解答にたどり着いた感じでした」

S.Kimura 「ヒントの着手地点を頼りに、ようやく解けました。このような条件をよく見つけたと感心しましたが、余詰を見つけた方は相当ですね」

占魚亭 「私は条件を見た瞬間心が折れたため締切り前ヒントが出るのを待ちしましたが、ヒントを見ずに解けた人は凄いと思う」

飯山修 「2種類の駒というのがネックで全然わからず直前ヒント待ち。後手2手の無駄手作品は結構あるんですね」

孔明（無解） 「とっかかりが掴めず解けませんでした。ヒントで着手地点と駒種がわかっても飛車の着手が難しく断念しました」

■難解作特集だけあって、直前ヒントが出てようやく通常の難度でした。

変寝夢（無解） 「条件を見て、ある程度までの手数データベースをどなたか公開しては頂けないかなと思いました(CSVで良いと思うのですが)。作られる方もそれを公開されると困るといったこともないでしょうね。やはり問題がありますかね」

■個人的には、DBを公開することで、今後推理将棋を始められる方や初心の方を含め多数の解答者の興味を削がないかを懸念します。当面は、配布するとしても出題担当等の関係者限りでいいと思います。ただし、DBを活用して新しい作品を作りたいとか前向きの狙いがあれば、限定配布する手もあるかもしれません。手元にあるリストは9手詰までです。

正解：20名 双方解：はなさかしろうさん、渡辺さん

飯山修さん S.Kimuraさん NNNさん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん 隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん たくぼんさん DD++さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん Pontamonさん 榊彰介さん 山下誠さん RINTAROさん 渡辺さん

99-3 上級 DD++ 作 鞍上人なく鞍下馬なし 9手

「や、これは、たった9手で詰められてしまった」

「馬をかなり活用できたからね」

「というと、やはり7手目かい」

「そうだね、金頭に馬がいるのに違和感があって、1筋方向へ移動させたら随分よくなった」

「こっちは着手が2つの段に分かれたのがよくなかったかね」

さて、どんな将棋だったのだろうか？

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・7手目は馬を金頭から1筋方向へ動かした
- ・後手は2つの段に着手した

出題のことば (担当 NAO)

金頭の馬が右に動く形を推理しよう。

追加ヒント

43馬が3筋に動いて飛を取る。

推理将棋 99-3 解答 担当 NAO

▲7六歩 △3二飛 ▲3三角成 △4二金
▲4三馬 △3四飛 ▲同馬 △7二金
▲6一飛 まで9手。

詰上がり図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科	爵	飛	王		爵	科	皇	
二			季			季		皇		
三	歩	歩	歩	歩	歩			歩	歩	
四							馬			
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	

持駒 歩2

(条件)

- ・7手目は馬を金頭から1筋方向へ動かした(4手目より△42金 ▲43馬 △34飛～7手目▲34同馬)
- ・後手は2つの段に着手した(二段目と四段目：△32飛～△42金～△34飛～△72金)

本作は、守りの金から離れる手が入る9手詰。止めの玉腹への飛車打が先例の少ない形でした。

7手目に金頭の馬を1筋方向に動かす直前、6手目を指した時点で金頭に馬が居る形とは、どんな形があるのでしょうか？角が成る可能性があるのは22,33地点以外に33(97)～42、44(97)～53、55～73の経路もあることを考慮すると、3筋の金では、31金+32馬、32金+33馬、33金+34馬、4筋の金では、41金+42馬、42金+43馬、42金+44馬、5～7筋の金では、52金+53馬、61金+62馬、72金+73馬が考えられます。が、7手目に金頭の馬を1筋方向に動かすと詰まない形が多く、9手で詰む手順は限られます。

- ・金頭の馬を1筋方向に動かして詰ますには、手駒の入手が必須。駒種は銀かと飛が有力。
- ・31銀を入手する手順：一例として「▲76歩 △62玉 ▲33角成 △72飛 ▲42馬 △54歩 ▲31馬 △51金左 ▲53銀」この手順は後手着手が1、2、4段目の3つの段なので失敗。
- ・次に後手に32飛と指させて32飛を入手する手順：一例として「▲76歩 △32飛 ▲33角成 △42金 ▲43馬 △62銀 ▲32馬 △52金寄 ▲41飛」この手順は後手着手が2段目のみの1つの段だけなので失敗。

・一見手段が尽きたようだが、32飛を4段目の34に移動する手順がある。作意は初手から「▲76歩 △32飛 ▲33角成 △42金 ▲43馬」。その後は△34飛の1手で後手が2、4段目の"2つの段に着手"をクリア。6手目から「△34飛 ▲同馬 △72金 ▲61飛」まで。は馬の効きのある後手玉の右脇、61地点の飛打ちが止めの1手。

詰みに有効な駒が後手陣の外にわざわざ2手掛けて移動した飛であるのが意外な一局、玉腹に馬の効きを残すのがポイントでした。

それでは皆さんの短評をどうぞ。

DD++(作者) 「最初『右へ動いた』としてあったんですが、これは非推奨表現だと気づいて投稿直前に『1筋方向』と変更したものの、これも際どい表現で『1筋側』とすべきでした。真横への移動限定で考えてしまった方がいらっしやいましたら申し訳ありません。9手としてはけっこう難問になっていると思いますが、どうでしょう？」

■先例の少ない詰形がなかなか浮かびづらく、難問でした。

諏訪冬葉 「98-3が頭に残っていて、『1筋方向へ動かす』→『右に寄る』と思い込んでいました」

■金頭から寄る手では金が強力で詰形を築けません。

渡辺 「3手目角が成って5手目7手目に馬移動と決め打ちしましたが、それでも詰めようとすると金に33に躲かれて金頭でなくなる。そこで飛に身代わりを御願いました。他のパターンを読んでいません」

はなさかしろう 「△3四飛が力強い一手。条件の組み合わせ方が面白く、楽しく解けました」

小山邦明 「先手の馬がじっと寄る手と、後手の飛がじっと浮く手の2つの手が大変巧妙だと思いました」

■ 駆け引きするような絶妙な間合いでした。

占魚亭 「5手目までは一本道。6手目がポイントでした」

斧間徳子 「34飛は気づきにくい妙手だが、今月は上級の本問が最初に解けた」

変寝夢 「追加条件3手目33、5手目43馬の着手で5手目着手後43馬

6手目着手後42金がいる、で700万局面5分3解出力。その中から2段の着手のものを選びました。3つめの条件は、3段以上の着手を除外するためかと思っていたのでビックリ。34飛が条件を満たすための好手でしたね」

S.Kimura 「2手目32飛で、馬でこの飛車を取る手は真っ先に考えたのですが、『2つの段に着手』の条件を満たせず、切り捨てていました。しかし、34飛とは良い手があったものです」

加賀孝志 「34飛は絶妙手、短い条件の方が良い」

たくぼん 「1筋方向が引く手となるのは上手い。34飛が好手」

■ △34飛は、9手詰難問特集の中でも最も印象に残る一手でした。

山下誠 「最後の条件で34飛に限定したのは素晴らしい。想定しにくい詰上りでした」

隅の老人B 「二つの段に着手、一段だけなら簡単だのになあ」

RINTARO 「後手の手が2段の条件が秀逸である」

小木敏弘 「いろいろな詰み筋があるのですが、後手二段がとても効いて限定しています。34飛がとてもいい味です」

■ 解図のヒントにもなりにくく、難問特集にびつたり"2つの段"条件。仮に、1つの段や3つの段と条件付けすると手順前後が残りますし。

波多野賢太郎 「これも難しかったです。後手の手順前後が許されないことを考えると、最初に飛車を振るのかなと思いながら解き始めました。4三馬から6二金、3二馬、5二金左、4一飛でうまくいったと思ったら、後手の条件を満たしていないことに気づいて、また一から考え直してしまったりしました。34飛がちょっと盲点でした」

榊彰介 「4一飛までを考え続けさせられ、6一飛で詰ます意外性を発見した時の解後感が、この作品の全て。条件から、後手の二段目以外のもう一つの段の着手が一間飛びの四段目とは気づきにくい」

Pontamon 「9手目41飛だと着手段が2段目だけで、62地点を埋める手が非限定。逆サイドへの61飛を実現するために34へ飛が浮く協力手が盲点でした」

■ 41飛の惜しい筋が比較的に見えやすいだけ、作意が見えづらくなっています。

NNN(誤解) 「これも難しかったですね。ヒントなしではダメでした。7手目に馬が右に動くなんていくらでもありそうな感じではたがないものですねえ」

攻めダルマン(誤解) 「ヒントがなかったら解けなかったかも」

■ 残念ながら、ご両名の解答は9手目41飛とする手順。1筋方向に引っ張られて別の条件が抜けてしまいました。NNNさんは"金頭"と"2つの段"の条件外れ、攻めダルマンさんは"2つの段"の条件外れ。

孔明(無解) 「99-2よりは取っつきやすかったです解けませんでしたが。ヒントで詰み形が見えかけたんですが、後手の2つ目の段への着手が見えず断念しました」

■ 2つ目の段が4段目だったとは盲点に入りましたね。

飯山修 「居玉でこの詰み形がほとんど発表されてなかったのが不思議です」

■居玉に馬+61 飛型。ありそうで無かった形。一つの発見でした。

正解：20名

飯山修さん S.Kimura さん 斧間徳子さん
加賀孝志さん 小木敏弘さん 小山邦明さん
隅の老人Bさん 諏訪冬葉さん 占魚亭さん
たくぼんさん DD++さん テイエムガンバさん
波多野賢太郎さん はなさかしろうさん
変寝夢さん Pontamon さん 榊彰介さん 山下誠さん RINTARO さん 渡辺さん

総評

Pontamon 「『9手≠初級問題』を再認識した特集だったと思います。今年目標（ヒント前全問正解）の第二ハードルと思っていた『9手詰の難解作品』特集を無事クリアできてホッとしています」

NNN 「いつも楽しく考えています。今回は難しかったですね」

小山邦明 「『9手詰の難解作品』特集のすばらしい作品を、ヒントが出る前に解答する事ができて大満足です」

小木敏弘 「中級、上級どちらも、おもしろい条件ヒントでした。解くには想像できにくく苦戦しました」

■9手詰は推理将棋の基本。短手数でも難易織り交ぜることも、難問だけを揃えることもできるのが素晴らしい。

波多野賢太郎 「今回の難解9手詰特集はやっぱり相当難しくてたくさん悩みました。その分、面白かったです。2番の九九がらみの条件はとても面白いと思います。せっかく面白い条件なので、初めての人でも理解しやすいような、できるだけ簡潔な説明文ができると思います。（結局は例をいくつか挙げて説明するのが一番わかりやすいのかもしれませんが）」

RINTARO 「99-2のような新条件作品には、詳細な説明が必要ですね」

斧間徳子 「推理が難しくて悩む問題は解けたときの快感が楽しみです、意味がわかりにくくて悩む問題は御免です」

■将棋の手以外の新条件は、詳しく説明しないと解らないし、説明が長すぎても解く気がなくなり、出題するのも"難解"で大苦戦しました。

隅の老人B 「3月20日、おもちゃ箱の推理将棋の解答締切日。名古屋地方の染井吉野の開花宣言は今日、明日らしい。いよいよ本格的な春、お花見の季節が到来。閑話休題、99-2の問題文が理解出来ない。これでは、問題を考える前に国語の勉強が必要。B爺は今年で八十歳、これが本当の『八十の手習い』ですね」

■傘寿おめでとうございます。問題文がわかりにくかったとの声は多数あり、国語の勉強が必要なのは担当の方でした。

変寝夢 「今月は詰め上がりの予想が全部外れでした。アルファ碁を見ていましたが、是非グーグルさんには推理将棋の検討をお願いしたいものだと感じました(*^▽^*)」

■同感です。担当出題も最近余詰を連発しておりますので。

榊彰介 「今回もギリギリでした。さすが難問だけあって、直前ヒントをもらっても考えさせられました。今回は上級→中級→初級の順にひらめいて解けました」

DD++ 「20日という日付を見て何か忘れていたと思ったら、答えを送信していませんでした。危ない」

渡辺 「解答の時間がなく本日慌てて解きました。一問自作なのが助かりました」

■解答者数が停滞して心配しましたが、ㄨ切日に急増しホッとしました。

はなさかしろう 「難問 9 手特集、面白かったです。では、9 手の最難問は？ というと、例えば 4-3『恐怖の 9 手』など、私がリアルタイムで知らない時期に既に発表されている問題や、解けずに正解を見てしまった問題、解けなのまま忘れてしまっている問題だったりするのかも知れません。次回いよいよ第 100 回ということで、楽しみにしています」

S.Kimura 「前回の総評で言われた通り、全問ヒント待ちでようやく解けました。

さすがに難問揃いで、全く歯が立ちませんでした。次回、100 回記念『10 手詰難度ゼロ』に期待しています」

たくぼん 「いよいよ 100 回ですね。期待しています」

■第 100 回は、難度ゼロまで易しいかわかりませんが 10 手の易問 2 問と 100 回記念の中編 1 問、お楽しみくださいませ。

推理将棋第 99 回出題全解答者： 23 名

飯山修さん S.Kimura さん NNN さん 斧間徳子さん 加賀孝志さん 孔明さん 小木敏弘さん 小山邦明さん 隅の老人 B さん 諏訪冬葉さん 攻めダルマンさん 占魚亭さん たくぼんさん DD++ さん テイエムガンバさん 波多野賢太郎さん はなさかしろうさん 変寝夢さん Pontamon さん 榊彰介さん 山下誠さん RINTARO さん 渡辺さん

Fairy TopIX2015投票要項

Fairy TopIXとはウェブサイトで発表されたフェアリー詰将棋・推理将棋・プルフゲームを対象にお気に入り投票を行い、上位作に授賞するものです。Fairy TopIX2015は2015年にウェブサイトで発表された作品の中からお気に入り投票によって選ばれます。

【投票宛先】

WFP事務局(たくぼん)宛にメールにてお願いします。 takuji@dokidoki.ne.jp

【スケジュール】

投票開始：2016年3月号発行日
投票締切：2016年5月10日
結果発表：WFP平成28年5月号(95号)

【対象】

2015年にWeb Fairy Paradise誌に掲載された作品(過去作の紹介作は除く)。なお詳しくは後日発行予定の対象作品一覧で確認下さい。またWFP作品展につきましては神無七郎氏のサイト(OFM)でも全作品動く盤面で鑑賞いただけますのでそちらを参照下さい。

【部門区分】

【フェアリー詰将棋】

短編部門：～15手
中編部門：16～49手
長編部門：50手～

【推理将棋・プルフゲーム】

短編部門：～15手
中長編部門：16手～

以上5部門となります。

【投票の仕方】

お気に入り投票として実施しますので何作投票していただいても構いませんが、お気に入り上位3作には1位～3位までの明記下さい。投票の際には集計間違いを防ぐため下記の項目を記載いただけると助かります。

- ・ 部門名
- ・ WFP何月号(または何号)
- ・ 作品展名(またはコーナー名)
- ・ (あれば)作品番号
- ・ 作者名&ルール名&手数
- ・ 投票作品へのコメント(部門別及び全体通してのコメントも出来ればお願いします)

*なお対象作品一覧には通し番号を打っていますのでそちらの記載でも構いません。

【投票集計方法】

投票順位に応じて作品毎に下記ポイントを加算し、各部門での合計ポイント順に授賞します。

- 1位：5点、
- 2位：3点
- 3位：2点
- 上記以外：1点

各部門得票数上位3作までが授賞となります。作者に授賞コメントをお願いすることになりますのでご協力よろしくお願いします。

選考ではありませんので、全部の作品を見てなくても構いません。お気に入りの作品をお好きなだけ書いて投票いただければ結構です。1票でも得票がある作品はすべて5月号に掲載いたします。今年もたくさんの投票をよろしくお願いいたします。

平成28年4月20日現在

お気に入り投票数・・・1(変寝夢さん)

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2016年5月15日(日)

第81回 WFP 作品展

フェアリー作品 14題

強欲な世界 PART 7

強欲協力詰 1題

2016年6月10日(金)

第3回フェアリー入門

フェアリー作品 5題

2016年6月15日(水)

第82回 WFP 作品展

フェアリー作品 7題

作品募集一覧

フェアリー版くるくる展示室

- ・ 盤は9×9、駒は普通の将棋駒及び駒数内(フェアリー駒はとりあえず不可)
- ・ 後手持駒制限 OK
- ・ ルールは何でも OK (協力詰、かしこ詰、打歩詰、自玉詰系、ステイルメイトなど何でも OK)
- ・ 手数制限なし

第4回フェアリー入門

【課題】「G(グラスホッパー)」を含む作品

【ルール】最善詰、かしこ、協力詰

【手数】1,3,5手

【採用基準】担当が1時間以内で解ける

* G以外のフェアリー駒禁止、駒制限は可

* 投稿多数時は採用基準に漏れた場合に返送となる可能性があります。

投稿・解答要項

【送り先】 keigotatibana@hotmail.com

【投稿・解答締め切り】 2016年6月10日

あとがき

3年ぶりくらいに解答選手権(初級の部・一般の部)広島会場のお手伝いに行ってきました。広島の実家は昨年父が亡くなり、現在は空き家となっており泊まることも難しいので日帰りの強行軍で行って来ました。選手の皆さんの前の前の席で開始と同時に暗算で考え始めましたが、初級はともかく一般戦の問題は5手くらい読むと盤面が全く分からない状況になり、なかなか解図がままならない感じでした。年ですかね。まあ昔から盤面に並べて駒を動かさないと解図が出来ませんでしたからこんなものでしょう。

詰パラ中学校担当の中島さんが見事トップですがというところを見せてくれました。東広島の梶下さんも参加されていたのでお話をしたのですが出来ずに残念でした。初対面でしたので、前に座っているあのおっちゃん誰や?という感じだったのかもしれませんが。詰四会のたくぼんですと自己紹介すべきだったと反省しています。

さて Fairy TopIX2015のお気に入り投票も1番投票がやっと届きまして締切まであと20日くらいとなりました。ここ数年推理将棋部門の投票が少なく寂しい思いをしていますので詰将棋メモで推理将棋解答されている皆さんの投票をよろしくお願ひしたいと思います。

結果稿を読んでの感想、意見、返信等ありましたらメール下さい。改訂時スペースに追加掲載します。(25日前後まで) たくぼん

2016年 第94号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十八年四月号

平成二十八年四月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先 takuji@dokidoki.ne.jp